

# 2009.9 VOL.16

**FFG** 福岡金融グループ  
MONTHLY SURVEY

## FFG 調査月報

### ■産業調査

中小企業における IT 導入のポイント

# 調査 月報

2009. 9. SEP

VOL. 16

## CONTENTS[ 目次 ]

- 
- [ 01 ]      トップに聞く  
                 中嶋英二郎 氏 (株式会社 中島ターレット 代表取締役)  
                 櫻井 一郎 氏 (櫻井精技 株式会社 代表取締役社長)  
                 佐々木 繁 氏 (株式会社 佐々木冷菓 代表取締役社長)
- 
- [ 08 ]      産業調査  
                 中小企業における IT 導入のポイント
- 
- [ 14 ]      しーず君の研究室訪問  
                 焼酎粕の中は宝の山。抗がん作用や美白効果にも期待！
- 
- [ 15 ]      海外レポート  
                 上海商談会事情
- 
- [ 18 ]      海外進出最前線  
                 凸版印刷(香港)有限公司・  
                 凸版印刷(深セン)有限公司
- 
- [ 19 ]      経済動向  
                 九州、福岡県、熊本県、長崎県
- 
- [ 26 ]      経済指標
- 
- [ 30 ]      海外展示会情報
- 
- [ 36 ]      セミナー案内
- 

### 【バックナンバーのお知らせ】

「FFG 調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。

<http://www.fukuoka-fg.com/>

FFGのお取引先企業をご紹介します。

### 株式会社 中島ターレット

代表取締役 **中嶋 英二郎**氏

取引店 福岡銀行 黒崎支店



### 櫻井精技 株式会社

代表取締役社長 **櫻井 一郎**氏

取引店 熊本ファミリー銀行 八代支店



### 株式会社 佐々木冷菓

代表取締役社長 **佐々木 繁**氏

取引店 親和銀行 佐々支店





## 株式会社 中島ターレット

# 中嶋 英二郎氏

創 業：1964年10月      設 立：1988年10月  
 所 在 地：福岡県岡垣町      資 本 金：30百万円  
 従 業 員：118名  
 事業内容：精密部品加工、半導体製造装置部品加工、モーター関連部品加工、  
 ポンプ関連部品加工、ロボット部品加工  
 製造拠点：本社工場(福岡県岡垣町)、水巻工場(福岡県水巻町)

### どんなむずかしいことも タイムリーに応える

- 当社は今から45年前の1964年に先代社長が北九州市において中島ターレット工業所を創業したのが始まりです。私が当社に入社したのは、創業から10年たった74年のことです。設立当初は、4名の社員でターレット旋盤3台を使用して小物の部品加工を行っていましたが、その後幾度もの工場新設、拡張や最新設備の導入を行い、現在では約160台の工作機械を保有しております。最新設備の導入と共に、従業員の育成や従業員満足向上にも注力しています。そうして、人の技術と機械を融合させて多品種少ロット生産に取組み、「どんなむずかしいこともタイムリーに応える」というモットーの実現に向けた挑戦を続けています。

### 国内メーカーとして生き残りを 図るため多品種少ロット生産・ 短納期化に注力

- 当社が多品種少ロット生産に取組むことになったきっかけは、今

から20年ほど前に当社の主力取引先であった企業からの仕事が海外に流出したことです。その時に、量産品製造で海外、特に中国のメーカーと争っても勝てないため、国内で生き残るためには海外メーカーでは対応が難しいポイントに注力する必要があると考えました。そこで、「これから伸びる分野に挑戦し、顧客を増やす」という新たな経営方針を打ち出し、日本に残った先端分野の仕事に対応すべく「高精度でかつ多品種少ロット生産」に注力することにいたしました。現在では、量産品の製造からは撤退し、高精度が要求される分野で一種類につき数個から数十個単位の多品種少ロット生産に注力しています。

海外メーカーの対応が難しいもう一つのポイントに「時間」というものがあります。海外から日本へ輸送するためには丸一日以上の時間が必要であり、そこで当社では海外メーカーとの差別化を図るため、短納期化の実現に注力しています。最近では24時間つねに顧客からの注文を受け付け、即座に対応するために24時間の生産体制を整備するなど、短納期化を更に強化し、「製造のコンビニ」を実現するための取組みを行っています。

### 外部の専門家を招聘し、5S活動を強化し「工場が営業マン」に

- 多品種少ロット生産で利益を確保するためには、高い精度を実現する「固有技術」とムダの徹底排除で停滞のない生産システムを構築する「管理技術」を常にレベルアップし続ける必要があると考えています。そのために取り組んでいるのが「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5S活動です。

5S活動は約20年ほど前から取り組んではいたのですが、当初はなかなか上手くいきませんでした。そこで、10年ほど前、不況になって当社の業績が厳しくなったことをきっかけに、5S活動に本格的に取組むことにしました。本格実施にあたっては、社内の人間だけで実施しても上手くいかないことはこれまでの経験で分かっていたので、外部の専門家を招聘しました。福岡県中小企業振興センターに「現場の経験者」かつ「中小企業がどのようなものか知っている人」という条件でアドバイザーの紹介を依頼したところ紹介を受けたのが、今でも当社の指導をいただいている山下氏です。そして5S活動を「チャレンジ&チャレンジ活動」と名付け、本格実施に着手いたしました。

当社の5S活動はグループ単位での自主的な活動が中核となって

います。現在は従業員が19のグループに分かれて活動を行っています。また、活動時間を毎週金曜日の12時45分からの45分間と定めており、その間は生産活動を休止して、全員が5S活動のみに従事するようにしています。5S活動を定着させるためには多くの苦労もありましたが、「経営者が率先」「自主性を尊重」「例外を作らない」といった考えの下で、私が常に高い関心を持って従業員一人一人とコミュニケーションを図りながら、急がずゆっくりと進めてきたこともあって、最近ようやく定着してきたように感じています。

こうした当社の取組みが口コミで広がり、現在では国内外から年間約400~500人の方が当社へ工場見学に来られています。そして、工場見学をきっかけに新規のお客様獲得に繋がることもあるなど、工場が当社の営業マンのような役目も果たしています。

#### 従業員育成・従業員満足度向上にも注力

- 当社では、経営方針のもう一つの柱として「特徴ある技能集団になる」ということを掲げ、従業員の育成に努めています。24時間の生産体制を構築するためには、従業員一人一人が幅広い分野の仕事をこなせるようになることが必要です。また、当社では顧客への提案、つまり単に加工を受託するだけでなく、顧客企業の設計者に対して加工業者の立場から提案を行うことにも注力しています。各従業員がそうしたことに対応できるだけの知識、技術を習得できるように、ベテラン社員と若手社員

が一对一で機械の使用方法などを教える時間を毎週設けているほか、OJTを通した育成にも努めています。

育成とともに、従業員満足度向上にも注力しています。特に気をつけていることは私からの積極的な声かけです。たあいも無いような話をしながら、私が各従業員に対して関心を持っていること、そして頼りにしていることを暗に伝えています。当社では中途採用やパートタイマーの募集を従業員からの紹介という形で実施しているのですが、新規に募集をかけるとすぐに応募が集まってきます。そのことが、従業員満足度が高まってきている証ではないか、と感じています。

#### 5Sをツールに新たな分野への広がりを目指す

- 当社の現在の主力事業は電機関連機械の部品加工ですが、昨年からの不況で当社の仕事もかなり減ってしまっています。ですが、そうした時期だからこそ5S活動の着実な実施や、従業員育成への取組みを強化しています。そして、常に海外メーカーに追いつかれることのないよう磨き上げている精密加工技術や「製造のコンビニ」などの当社の強みを生かして、取引先開拓や新たな分野への業務の領域拡大に努めて参ります。



製品写真



視察風景



福岡銀行  
取締役頭取 谷 正明

ゴミ一つ落ちていない通路、使いやすいように整理されている道具、常に新たな工夫をしようとしている姿が見える5S活動用の掲示板など、工場を拝見すると、当社の5S活動の徹底ぶりを肌で感じることが出来ます。当社の強みの源泉は、そうした取組みだけでなく、その根底にある「社員全員が更なるレベルアップに常時努めようとする風土」にあるのではないかと思います。

このような強みを有する当社ならば、今後も様々な環境変化にも的確に対応し、発展を続けていかれるだろうと確信いたしております。



左から谷頭取、中嶋社長、稲永支店長



視察風景



## 櫻井精技 株式会社

# 櫻井 一郎氏

設立：1965年9月 所在地：熊本県八代市  
 資本金：30百万円 従業員：260名  
 事業内容：半導体製造装置・検査装置などの開発・製造・販売  
 主な取扱品目：半導体製造装置、プリント基板製造装置、液晶検査装置など  
 営業拠点：本社・工場（熊本県八代市）

### 三代続いた造船業から 半導体産業へ

- 当社のはじまりは明治期に先祖が創業した造船所であり、主に木造船の建造を手掛けていました。三代目である父の時代に、将来の需要減少を見越して、造船業からの転換を模索し、プレス加工や金型加工に取組み、大手農機具メーカーや、大手電機メーカーとの取引を増やしていきました。そして、1965年には社名を「櫻井工業造船所」に変更し、部品加工業に完全に事業を転換しました。

大手電機メーカーとの取引の中で、精密な機械加工技術や、半導体産業の品質基準、半導体を作るための管理水準を学ぶことができたことが、製造装置の製造を主体とした、現在の当社の礎になっています。

### 社名に込めた思い

- 私は高校まで八代で過ごした後、東京の大学に進学し東京で就職しようと考えていましたが、病気に

なった父を助けるため、当社に81年に入社し、97年には社長に就任しました。大学では法律を勉強していたため、技術的な基礎知識などは、入社後に学びました。元来技術屋ではないので、私の仕事はマネージャーだと思っております。マネージャーとして大切にしていることは、「愚直なモノづくり文化を維持すること」「外部資源と連携が出来るくらい強い技術の習得」です。

こうした思いは、当社に入社した当時から持っており、入社2年目の83年、社名を私が考えた「櫻井精技」に変更しました。この「精技」は精密技術の略ではなく、「More Spirits & Better Technology」をモットーに、「お客様の期待を創造し、期待に応えて信頼を受け続けよう」という思いから、「精神」と「技術」から一字ずつ取ったものです。

### 愚直なモノづくりへの取組み

- 私は、良いものはすぐに模倣されるものだと考えています。いわゆる「知財」は独り占めするためではなく、特許は広く公開して安い使用料で使ってもらうために権利があるものと思っています。重要なのは知財ではなく販売のやり方や「モノづくり」の実力であり、それを支える人材の育成と技術レ

ベルの向上にこだわっています。特に、当社が製造している「製造装置」はお客様にとっては会社の存亡をも左右する、戦う「武器」であるため、信頼性が重要視されています。つまり、この業界では「あそこが造った装置であれば間違いない」という信頼感を得ることが必要です。当社では製品の開発・製造において、「原理原則を貫くこと」「愚直にやること」を徹底することで、お客様の信頼を得ています。時折、当社は「昔のモノづくりが残っている」と評されますが、そうした取組姿勢も、大手メーカーとの取引が長続きする理由のひとつだと考えています。

また、当社ではソフトウェアから製造工程までを全て内製化し、自社で一貫生産を行っています。そうすることで、製品開発のスピードを早めるとともに、製品の設計技術等を全て保存しているため、お客様から当社製品の改善・改良の要請があれば、その全てにお応えすることができます。こうしたことも当社の信頼性に繋がっており、同業他社との差別化にもなっております。

### 外部との連携が事業領域拡大の 原点到

- 当社に入社した頃、機械図面が読めなかった私は、地元大学や県

の工業試験場などに入り込んで教えを受けました。また、取引先企業の方々からも実際の取引の中で数々の教示を頂き、「お客様に育てていただいた」という気持ちが強くあります。このように、産学官連携は私の原点ともいえますが、こうした外部との連携に期待するのは「製品化・事業化」よりも、むしろ当社の技術者のレベルを引上げる「教育」にあります。短い期間での成果ではなく、長期的な視点で最も伸びが期待できる「人材」の育成に主眼を置いています。

一方で、長期にわたる連携活動の成果として、新たな分野への道筋が開けたものもあります。そのひとつが、熊本大学医学部などと開発した五十肩の治療器である「上肢用CPM」です。本製品は10年以上に及ぶ開発データの蓄積と、多額の自己資本投下が奏功し、2年前に厚生労働省の型式認定を取得できました。この「上肢用CPM」を足掛かりとして、医療装置分野への進出が視野に入りました。また、安易にコンサルタントに文書を作ってもらうのでは

なく、当社の社員だけで厚生労働省の型式認定を取得できたことは、人材育成と同時に、ノウハウの蓄積により新たな分野への応用につながると考えています。このように、産学官との外部連携は当社の事業領域拡大にも貢献しています。

### 次世代に会社をつなぐ「種蒔き」

- 長期的な視点で考えれば、30年後の世界では、地球人口の爆発的増加や石油資源の枯渇など、大きな転換点を迎えるのであろうと考えています。そのような環境変化の中で、「モノづくり企業」としての当社を次世代につないでいくためには、今から将来を見据えた事業の「種蒔き」が必要だと感じています。

製造装置メーカーとして、将来どのような装置や設備が求められるのか、といったことについて、具体的でなくとも、方向性を示す必要があると考えます。外部との連携を活かして様々な可能性を探りながら、「人づくり」「モノづくり」にこだわり、信頼を得られる企業であり続けたいと思います。



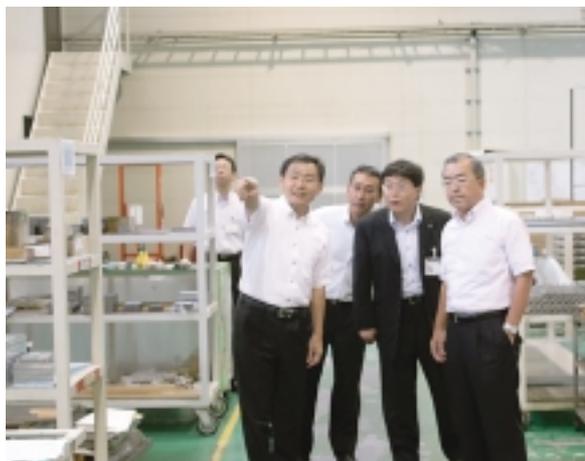
熊本ファミリー銀行  
取締役頭取 鈴木 元

法学を修められた後、全く異分野であった「家業」に身を投じられた頃には、膨大な知識を短期間で修得するなど、大変なご苦労があったものと拝察いたします。

業界に精通した「マネージャー」であるからこそ、業界の常識に囚われない「内製化へのこだわり」「外部との連携」など新たな解決方法を導き得たのではないのでしょうか。当社が今後も「愚直に」モノづくりに邁進され、取引先企業からの信頼を勝ち取り続けられることを確信しております。



対談風景



視察風景



上肢用CPM装置AH706

## 株式会社 佐々木冷菓

# 佐々木 繁氏

創 業：1958年 設 立：1987年1月  
 所 在 地：長崎県佐々町 従 業 員：250名  
 事業内容：アイスクリーム・冷凍食品の卸、小売業  
 事業拠点：本社・西九州支店(長崎県佐々町)福岡支店(福岡県筑前町)、  
 北九州支店(直方市)、熊本支店(山鹿市)、長崎営業所、  
 南熊本営業所、延岡営業所、宮崎営業所、鹿児島営業所、  
 山口営業所、愛媛営業所、佐賀出張所、天草出張所、  
 大隈出張所



### 創業以来掲げてきた 「共生の理念」

- 当社は1958年に父・源太郎(現会長)がアイスクリームの商業卸として創業し、以来、「共生の理念」を掲げて業務に邁進して参りました。現在はアイスクリームのほか冷凍食品などフローズン商材の総合商社として、九州及び中国・四国エリアに商品を提供させていただいています。お得意先様へのきめ細やかなサービスはもちろんですが、そこへお越し頂いている消費者の皆様にご満足して頂ける商品の提供に努めることが、私どもの歩む道であると考えています。

### 売上予測に基づく取引先への商品補充

- アイスクリームなどの冷凍商材は、文字通り冷凍状態で維持保管しなければなりません。お得意先様の小売店で冷凍食品のストック設備を持つには大きなコストがかかるため、当社が商品のストック機能を担うとともに、お得意先様の売り場で欠品が発生しないよう

に、売場づくり、経費効率、在庫管理のお手伝いをしています。

当社の担当者は、担当するお得意先様の売場一つ一つの販売パターンの把握と、お得意先様から随時送られてくる販売データや季節要因から独自に売場ごとの販売予測を行い、きめ細かな配送スケジュールを組み立てています。欠品の連絡を受けてから納品の準備をするのではないので、当社のお得意先様の売場では欠品がほとんど発生しません。

このように、当社では卸売業者本来のサービスに徹底的にこだわることで、お得意先様の皆様から信頼を頂いています。

### 消費者に支持される売場の提案

- 特に留意しているのは消費者の皆様が目線に立った売場づくりです。消費者の皆様にとって魅力ある売場を提供することが、お得意先様に対する力強いサポートになります。平日もしくは毎週日曜日のオール3割引販売など、値引き、安売りに頼った販売スタイルではなく、消費者の皆様にご支持される売れ筋商品を揃え、分かり易く、買い易い売場づくりを提案しています。メーカー資本を一切受けていない利点を活かし、全国メーカーのほか全国的にも数が多い九

州地場メーカーの商品も多彩に取り揃えています。

また、販促支援についてはアイスクリームのアウトレットコーナーや季節ごとの売場の提案など、消費者の皆様のご購買意欲をかき立てる企画の提案を行っています。

### 佐々木冷菓の21世紀型 流通システム

- 商品の仕入においても、メーカーと協働してより良い商品を消費者に提供できるように工夫しています。工場生産されたアイスメーカーの製品は、通常、各メーカーの流通倉庫へ一旦配送され、卸業者へは各メーカーの流通倉庫から商品が送られてきます。これは、メーカー工場からの配送が10tという大きなロットで行われるためですが、各メーカーの倉庫を経由すると、扉開閉回数が増えることによる商品劣化や、保管料・運賃が割高となるなどのデメリットも発生します。当社では冷凍保管機能を備えた物流センターをいち早く整備し、各営業所からの商品発注は物流センターで一括してメーカーに行き、各アイスメーカーの工場から当社物流センターへ商品が直接納入されています。自社の物流網を介した効率的な配送をとおして、コストの削減と鮮

度を維持した商品の提供を実現しています。

### 会社の発展は社員の幸せと共に

- どのような時代であっても事業が持続していくためには、人材が育っていくことが重要ですので、社員教育には特に力をいれています。日常業務の中での指導はもちろんです。私の想いと全社員の意識を統一するため、新入社員全員を人材養成の専門機関へ派遣し、「組織のあり方」や社内ルール遵守の重要性を徹底して指導しています。また、事業所の移転新設に合わせて、設備更新による労務環境の改善を進めており、社員のやる気のできる環境整備に努め、会社を通じて社員が幸せを実感できる職場づくりを目指しています。

### 「共生の理念」を機軸とし企業連携や協力関係を強化し将来を切り拓く

- 当社は創業50周年の記念すべき年であった2008年4月に、新

社屋を移転新設いたしました。西九州自動車道開通の利便性を考えての移転で、効率の良いローコスト物流を目指すうえで重要だと判断したからです。本社機能の充実、お得意先様に対するリテールサポート体制の向上に繋がっていくものと思っています。

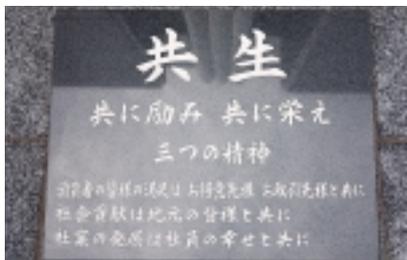
現在、当社は九州一円、中・四国にかけて全部で15カ所のネットワークを持ち、円滑な物流体制を可能にしています。私どもは、共生の理念である「消費者の皆様への満足はお得意先様、お取引様と共に」「地域社会貢献は地元の皆様と共に」「社業の発展は社員の幸せと共に」という3つの精神を基軸とし、今日まで事業に邁進してまいりました。業界を取巻く環境はまさに激変の中にありますが、異なる地域での同業種同業態の企業連携や提携、協力関係をさらに強化し、アイスクリームや冷凍食品における専門性の強みを活かすことで、将来の展望を切り拓いていきたいと考えています。



親和銀行  
取締役頭取 鬼木 和夫

変化の激しい流通業界において、当社は昨年創立50周年を迎えられ、冷菓卸業では九州最大の企業へと成長されています。その成長の大きな要因は、お取引先への徹底したきめ細やかなサポートの実践と、物流効率化に対する卓越した先見性であると思います。

当社が掲げてこられた「共生の理念」は、現在のような激しい変化の時代において、今後ますます重要な考えとなるのではないのでしょうか。これからのさらなるご発展が楽しみです。



共生の理念



アイスクリーム専用の配送トラック



氷点下25 の冷凍倉庫内



左から川畑支店長、佐々木社長、鬼木頭取



当社が手掛けたアイスクリーム売場

## 中小企業におけるIT導入のポイント

### はじめに

インターネットの普及とともに、「IT(インフォメーション・テクノロジー)」と呼ばれる情報技術は社会へ急速に浸透し、企業経営においてITはなくてはならない不可欠なツールとなっています。このITを活用して新しいビジネスモデルを創り出し、経営を劇的に変革する企業が現れる一方で、多くの中小企業においては部分的な導入に留まり、必ずしも十分に活用するまでには至っていないのが実状と言えます。

このレポートでは中小企業におけるIT導入の現状を踏まえ、ITの利用環境の変化や活用事例の紹介などから、IT導入のポイントについてまとめてみたいと思います。

### 1. IT(情報技術)の定義

従来のIT(情報技術)とは、コンピュータなどが持っている、情報の加工や編集、伝達に関する技術のことを指していました。しかし、コンピュータがネットワークと融合した現在では、インターネットに代表されるネットワーク技術や、その中を流れる情報の表現や処理方法に関する技術も含めた広義の意味を持つようになっています。

このような広い意味での「IT」は、ここ10年でこれまでの100年分に相当するような急速な進歩を遂げたと言われていています。また、企業経営においては、早く・最適なかたちで・効果的に活用することによって、競合他社との差別的な優位性を獲得する有力な手段になるため、注目されてきています。このようなことから、今日におけるITとは「企業における競争戦略を効果的に実現できるコンピュータや通信等の活用技術」と定義することもできます。

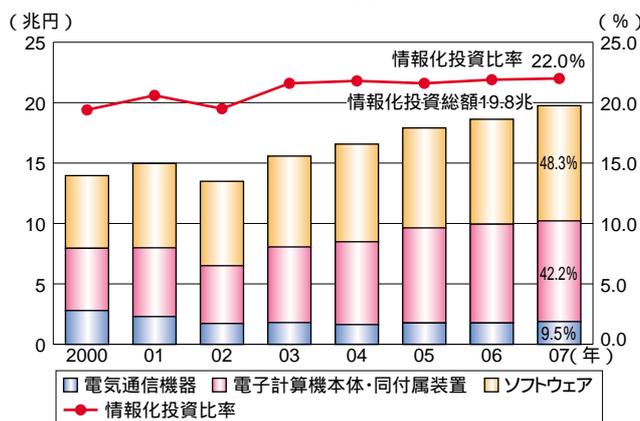
### 2. 中小企業におけるIT導入の現状

次に、国内の企業数の殆ど(99%以上)を占める中小企業における、ITの導入状況や導入の阻害要因などについてみてみます。

### (1) IT投資の状況

国内全体の情報化投資は順調に増加し、ソフトウェアが48.3%を占める

図1 日本のIT投資額の推移



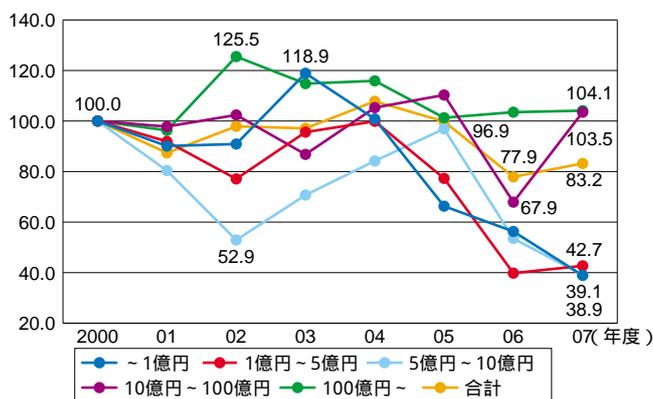
(出所 総務省「ICTの経済分析に関する調査」(2009年))

国内民間企業の設備投資額は2003年以降順調に増加し、2007年は前年比6.0%増加して19兆8,000億円となりました(図1)。設備投資総額に占める情報化投資の割合は22.0%で、近年の水準はほぼ安定しています。

情報化投資の内訳をみると、ソフトウェアが48.3%、電子計算機本体ほか42.2%、電気通信機器9.5%と、ソフトウェアの割合が最も高くなっています。

### 小規模企業のIT投資額は2000年比4割の水準にまで低下

図2 資本金規模別にみた一社平均情報処理関係諸経費の推移(2000年=100)



(出所 経済産業省「情報処理実態調査結果報告書」(2008年)を基にFFG作成)

図2は企業一社あたりの情報処理関係の諸経

費を、資本金規模別に推移をみたものです(2000年 = 100)。

全体(合計)の動きをみると、2005年までは100前後で動いていましたが、06年に77.9へと大きく低下した後、07年は83.2へ回復しています。

資本金が10億円を超える大企業は、時期によって多少上下していますが、おおよそ100前後の安定した水準で推移しています。06年に10億円～100億円の企業が67.9にまで低下しましたが、07年は103.5、100億円超の企業は104.1と2000年の水準をやや上回っています。

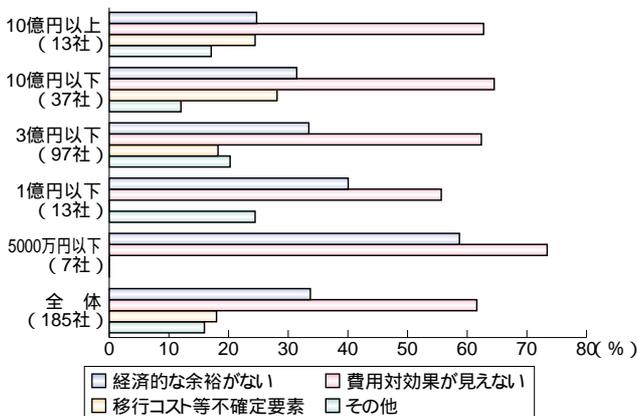
一方、資本金1億円以下から10億円までの規模の企業をみると、1億円以下では03年の118.9をピークに低下に転じ、07年は38.9にまで落ち込んでいます。資本金1億円～5億円、5億円～10億円の企業についても、それぞれ04年、05年をピークに低下し、07年には2000年のほぼ4割の水準となっています。

国内景気が回復期にあった02年から07年にかけて、大企業のIT投資額は安定した水準を保って推移したのに対し、資本金1億円以下をはじめとする10億円以下の企業は4割に低下するという、企業規模による二極化が鮮明になっています。

## (2) IT導入の状況

### IT未導入の最大の理由は費用対効果が明確でないこと

図3 IT未導入の経済的な理由(売上高別)



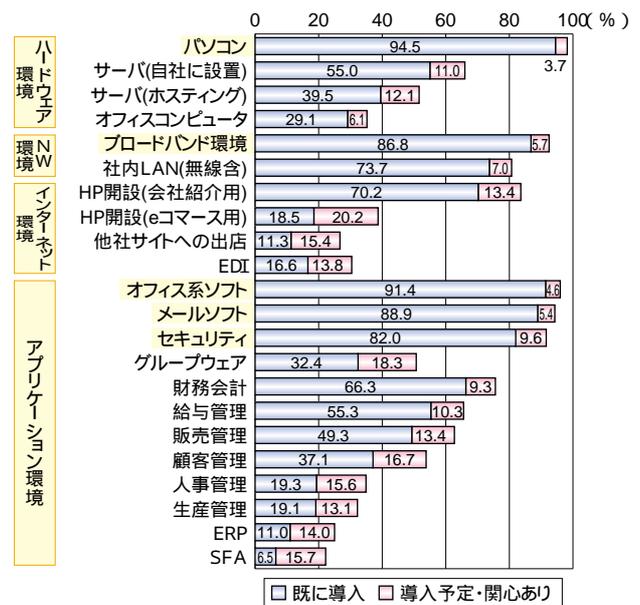
(出所) 経済産業省「平成17年度中小企業IT利活用実態調査」

中小企業でIT導入が進まない理由をみると(図3)全体では「費用対効果が見えない」が約60%で最も多く、「経済的な余裕がない」の

約30%を大きく引き離しています。売上規模が小さい企業ほど「経済的余裕がない」の割合は多くなっていますが、それ以上に「費用対効果が見えない」とする割合が多くなっています。

### 「パソコン」や「ブロードバンド」など利用の基盤となるITの導入率は高い

図4 中小企業のIT導入率



(出所) 日本商工会議所「中小企業のIT活用に関する実態報告書」(2008年3月)

中小企業のIT導入状況をみると(図4)「パソコン」(94.5%)「ブロードバンド」(86.8%)「オフィス系ソフト」(91.4%)「メールソフト」(88.9%)「セキュリティ」(82.0%)など、利用の基盤となるITの導入率は8割から9割を超えています。

しかし、「サーバ」や「グループウェア」、「販売管理」ソフトや「顧客管理」ソフトなど、戦略的に使いこなそうとするためのITの導入率は低位に留まっています。

### 特に従業員数20人未満の企業でIT導入が進んでいない

上記のとおり、業務用ソフトのうち「財務会計」と「給与管理」ソフトの導入率は66.3%、55.3%と50%を上回っているものの、さらに従業員数別に中小企業のIT導入状況をみると(表1)従業員数20人未満の企業では、49.4%、27.5%と50%を下回っています。また、ハード

表1 従業員数別IT導入率

		20人未満	20人～49人	50人～99人	100人以上
ハードウェア環境	パソコン	91.8	95.6	96.7	97.3
	サーバ〔自社に設置〕	30.1	60.2	75.0	86.8
	サーバ〔ホスティング〕	28.7	42.8	46.0	54.1
	オフィスコンピュータ	17.5	34.3	34.0	45.2
ネットワーク環境	ブロードバンド環境	80.2	90.1	92.7	92.8
	社内LAN〔無線含〕	57.0	81.9	84.7	92.3
インターネット環境	HP開設〔会社紹介用〕	55.0	75.7	80.1	89.3
	HP開設〔eコマース用〕	18.2	18.5	18.9	18.9
	他社サイトへの出店	10.7	10.2	12.6	12.4
	EDI	7.6	16.6	23.2	30.6
	アプリケーション環境	オフィス系ソフト	86.8	93.4	97.3
	メールソフト	85.0	90.4	93.3	92.2
	セキュリティ	74.8	82.9	89.0	90.9
	グループウェア	16.7	31.9	38.5	61.5
	財務会計	49.4	70.7	83.2	84.4
	給与管理	27.5	69.6	81.1	79.9
	販売管理	37.3	54.4	54.4	65.6
	顧客管理	30.1	38.4	42.8	46.2
	人事管理	7.4	17.8	23.5	42.9
	生産管理	10.2	19.3	25.7	32.6
	ERP	5.1	12.4	14.0	19.6
	SFA	2.7	6.6	5.5	15.1

□ 25%～49.9%   □ 50%～74.9%   □ 75%～100%

(出所)日本商工会議所「中小企業のIT活用に関する実態報告書」(2008年3月)

ウェア環境での「自社サーバ」、ネットワーク環境での「社内LAN」、アプリケーション環境での「セキュリティ」についても、従業員数が20人未満の企業の導入率は、20人以上の企業と比較して一段低くなっています。

このように、中小企業の中で特に従業員数20人未満の企業では、利用の基盤となる導入に留まり、戦略的ITの導入が進んでいないことがわかります。

中小企業においてIT導入がなかなか進んでいない現状のなかで、これからITを導入し戦略的に使うためには、どのように取組めば良いのか、続いてIT導入に関わる環境の変化についてみていきます。

### 3. 中小企業のIT導入に関わる環境の変化

#### (1) 経営環境の変化

##### 顧客ニーズの多様化

経営環境での最も大きな変化は顧客ニーズの変化です。顧客ニーズの多様化が定着し、どのような事業分野においても単純に商品やサービスを提供するだけでなく、顧客一人ひとりの多様な好みに応えることを求められるようになりました。この顧客の変化に応えるためには、顧

客のニーズを的確に捉えるとともに、求められる多様な商品やサービスを提供することができなければなりません。変化を的確に捉え対応策を講ずるには、多様化したニーズをデータ化し分析するITの力が必要です。

#### インターネット直販と企業間電子商取引の拡大

インターネットの普及は既存の流通網を介さない顧客との直接取引を可能にし、電子商店街(モール)を始めとするインターネット直販市場は、景気の動向に関係なく急速に拡大しています。

また、企業間の受発注や見積もりなどを電子データの交換で成立させる電子商取引(EDI)は、専用線を用いる方式から、インターネットを介する方式(Web EDI)を使うことによって、大手だけでなく中小企業にまで取引は拡大しています。

#### 海外取引の活発化

大手企業などの海外への工場移転が続いた時代を経て、現在では規模の大小に関わらず、様々な業種において海外企業との取引が活発化しています。インターネットの普及は経済のグローバル化を推し進め、中小企業においても海外取引は身近なものへと変わりつつあります。

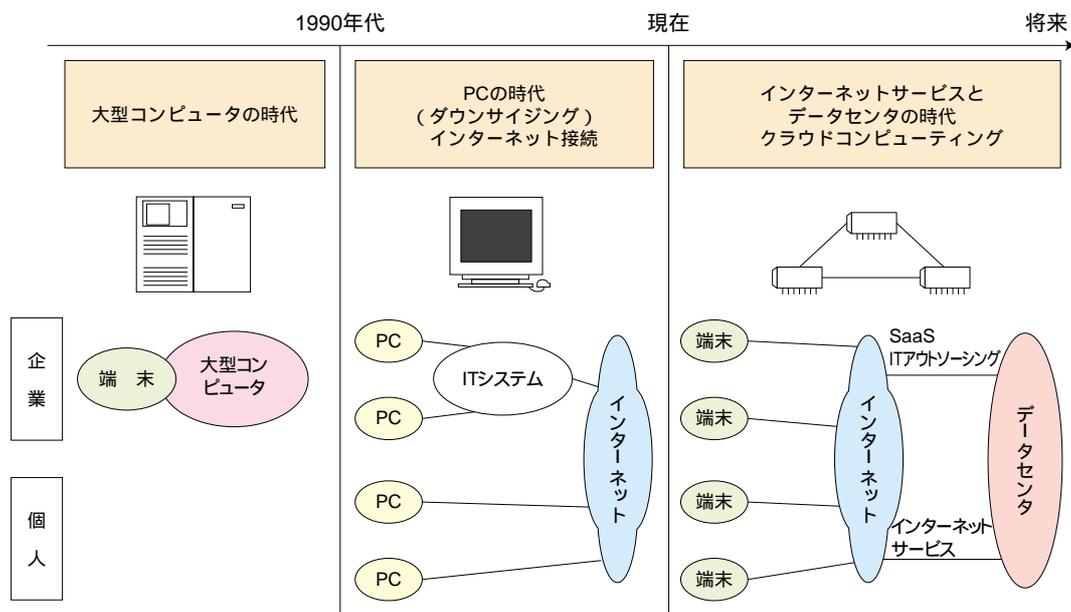
中小企業を取り巻く経営環境において、消費者ニーズの多様化への対応、インターネットを介する電子商取引の拡大、海外取引の活発化など、製造業、非製造業を問わず、ITとの関わりは必須となっており、経営課題解決のためにはIT環境の整備が不可欠といえます。

#### (2) 情報技術の進化

##### ITの新しいスタイル「クラウドコンピューティング」

インターネットの普及とともに、高速なネットワーク環境が広く行き渡り、コンピュータを利用するシステムは新たなスタイルへ進化しようとしています。今、ITの新しい潮流として注目されているのが「クラウドコンピューティング」システムです(図5)。

図5 ITの新たな潮流



(出所 経済産業省「経済産業省が推進する中小企業向け SaaS 事業 (J - SaaS)」について)

現在、私たちが利用しているパソコン( PC ) は、多くの場合、それぞれがソフトウェアを持ち、企業においては社内 LAN などの IT システムに接続したり、個人では単独の状態などで使用しています。そのパソコンの殆どは、ブロードバンドなど高速回線でインターネットに接続されています。

そこで、将来的なコンピュータシステムのかたちとされているのが、端末と接続するインターネットを雲とみなし、ネットワーク上に存在するサーバが提供するサービスをあたかも雲から降ってきたかのように使うという意味で、クラウドコンピューティングと呼ばれるシステムです。このシステムでは、端末にソフトウェアを持つ必要がなく、インターネットを介してデータセンタに接続することでソフトウェアを使うことができます。このようなソフトウェアの提供方法は SaaS ( Software as a Service 「サービスとしてのソフトウェア」) と呼ばれ、必要な時に使う分だけの利用料を支払います。現在、経済産業省が推進している J - SaaS の提供が本年 3 月から始まっており、中小企業の IT 化推進に寄与するものと期待されています。

しかし、反面、J - SaaS を知らない企業も多く、普及は今後の啓蒙活動次第とも言えます。

J - SaaS の詳細は <http://www.j-saas.jp> を参照

### クラウドコンピューティングでは自前でシステムを所有せず保守管理も不要

クラウドコンピューティングとこれまで ( PC の時代 ) のコンピュータシステムの大きな違いは、自前でシステムを持たないことです。発生するデータもデータセンタに保存できるので、ハードディスクやサーバを整備する初期投資が不要で、ソフトウェアやサーバなどのシステム保守管理からも解放されます。

クラウドコンピューティングの将来的な普及を睨んで、日本を含め世界の主要な IT 関連企業は既にデータセンタなどの整備を積極的に進めており、コンピュータの利用環境は急速に新たなかたちへ変わろうとしています。J - SaaS に代表されるクラウドコンピューティングは、中小企業にとって IT 利用の大きな負担となっている経済的、人的コスト問題の解決手段となる可能性を、大いに秘めています。

### 4 . IT を積極的に経営に活用している事例

ここでは、事業に IT を上手に取り入れて経営に活用している企業として、九州 IT 経営力大賞 ( 2009 ) 受賞企業 2 社と、J - SaaS 利用企業を取り上げ、その活用内容や効果について紹介します。

## 【株式会社 鐘川製作所】

代表者	鐘川 喜久治	所在地	福岡県須恵町
URL	www.kanegawa.co.jp	TEL	092 932 4629
資本金	4,000万円	設立	1966年10月
業種	精密板金、建築金物	従業員	49名



### 事業概要

- ・精密板金部門  
ITから車両・建築・環境・産業機械など多岐にわたる分野の多品種少量の金属加工
- ・建築金物部門  
建築工事における建築金物・建具や、モニュメント・オブジェ等の、設計から製作・施工管理
- 事業課題
- ・経営環境の変化に対応するため受注先を多様化した結果、会社の利益構造がわかりづらくなり、事業や取引先ごとの原価率や利益率を把握する必要性が生じた  
IT活用内容
- ・生産管理のため工場内にLANを構築し、各製造工程に配置したノートPCで生産進捗を入力
- ・原価管理のため売上と生産管理データを連携
- ・イントラネットを構築し営業情報や総務業務の作業管理を一元化  
IT活用効果
- ・取引先や受注事業ごとの原価明細がリアルタイムで把握できるようになり、戦略的営業を実現
- ・作業ごとの利益寄与度を業績考課に反映したところ、社員のモチベーションが向上

## 【株式会社 トウトゥモロウ】

代表者	坂田 知裕	所在地	福岡県福岡市
URL	www.totomorrow.co.jp/	TEL	092 525 1411
資本金	2,700万円	設立	1993年11月
業種	宅配クリーニング	従業員	25名



### 事業概要

- ・フランチャイズ主体のクリーニング宅配事業（宅配ピザのクリーニング版）
- ・フランチャイジーやパートナーを集い、当社が本部として窓口となり、受け付けた内容を各フランチャイジーやパートナーに迅速に伝えるためのシステムを提供
- 事業課題
- ・ミスがなく迅速かつ効率的な指示・伝達の実行
- ・顧客の都合の良い時間帯での予約受付の実現
- ・売上・利益など全活動の経過状況を、リアルタイムで把握
- ・サービス品質維持、迅速なクレーム対応、機会損失の防止  
IT活用内容
- ・お客様窓口を本部に一本化し、インターネットを通じた集配予約や実際の集配状況を管理できるITシステムを自ら開発  
IT活用効果
- ・間接的な業務にとられる時間を削減
- ・顧客の要望に関してヒアリングや提案を行う時間的余裕を確保
- ・システムを活用し集配状況を本部も把握でき、案件への対応時間が短縮されたため顧客満足度が向上

## 【株式会社 ヴィンテージ・プロダクションズ & コンサルティング】

代表者	郷田 和正	所在地	福岡県北九州市
URL	www.vintage.ne.jp/	TEL	093 513 7255
資本金	880万円	設立	2005年5月
業種	コンサルティング	従業員	6名



### 事業概要

- ・WEBサイトの企画・コンサルティングおよび運営など
- ・成年後見業務など法律福祉システム開発・販売
- ・ネットワーク、ITインフラ等のシステム構築事業課題

- ・総務業務や社内スケジュール管理に関わるコスト削減や圧縮

### IT活用内容

- ・出張旅費など経費管理業務のためのソフトウェアを、経済産業省が推進するJ-SaaSが提供するサービスで利用

### IT活用効果

- ・初期導入の費用を削減でき、毎月の支出額は5,000円/月(5ライセンス)
- ・ソフトインストール等の作業が不要
- ・バージョンアップ等の費用負担が発生しない
- ・ソフトの運用管理のための人員が不要
- ・経費管理業務のために発生していた雑作業が減少し、システム開発など本来業務に全員が注力

紹介した3社の業種や企業規模などはそれぞれ異なっており、IT導入の方法についても、「鐘川製作所」ではシステムベンダーを通じて、「トゥトゥモロウ」では代表者自らシステムを開発、「ヴィンテージ・プロダクションズ&コ

ンサルティング」ではJ-SaaSのホームページを介して導入するなど様々です

しかし、3つの事例に共通しているのは、それぞれの経営課題に対し明確な目的をもってIT導入に取り組み、成果を挙げている点だといえます。特に、「鐘川製作所」と「トゥトゥモロウ」の取り組みは、ITの導入によって他社には真似の出来ない独自戦略を実現しています。

「ヴィンテージ・プロダクションズ&コンサルティング」の事例では、先に紹介したSaaSによるサービスを利用して、中小企業ならではの事業課題に対応された取り組みを紹介しました。

### おわりに

中小企業を取り巻く厳しい状況を打開するには、新たな市場を開拓し、今までにないサービスを提供していくことも一つの手段です。そうした取り組みに際して、力になるのがITの活用ではないでしょうか。まずは、自社の経営課題を明確にすることが必要ですが、ITの導入により解決の可能性があるのか、検討してみる価値は大いにあると思います。

ITの進化のスピードには目を見張るものがあり、様々なサービスが低コストで利用できる環境が整ってきています。しかし、中小企業においてはIT化を推進する専門スタッフがいなために、ITの導入が進まない現状もあります。中小企業のIT導入をサポートする専門家派遣制度として、中小企業基盤整備機構の「戦略的CIO育成支援事業」をはじめ、国(経済産業省)や県、商工会議所などの様々な助成制度があり、これらを活用するのも経営課題の解決に役立つと思われます。

FFGビジネスコンサルティングにおきましても、ITコーディネータや中小企業診断士を派遣し、お取引先のIT化支援をお手伝いしています。

(島浦 誠)

### 【お問合せ先】

(株)FFGビジネスコンサルティング  
IT化支援 担当 吉田  
TEL 092 723 2244 FAX 092 713 6486

捨てていた焼酎粕が健康ドリンクになる?



# しーず君の研究室訪問 (第7回)

大学発 シーズ紹介

## 焼酎粕の中は宝の山。抗がん作用や美白効果にも期待！ ～ アミノ酸、クエン酸、オリゴ糖など栄養素がいっぱい～

崇城大学 生物生命学部 うえあかりゅういち 上岡龍一 教授

焼酎ブームが続く中、その製造過程で大量に出る焼酎粕の処理問題が深刻化しています。実は、この焼酎粕の中には、アミノ酸、クエン酸、オリゴ糖などの栄養素が豊富に含まれていることが知られています。先生の研究の結果、“抗がん作用”や“美白作用”にも効果があることが解明されました。今後、更に研究が進めば、健康・医療分野において新しい可能性を秘めています。



上岡教授(前列中央)とスタッフのみなさん



先生の自己紹介をお願いします。

**先生** 30年以上にわたり、「人工細胞膜(ハイブリッド型リポソーム)」と呼ばれる天然素材を用いた“副作用のない抗ガン薬”の研究開発を行っています。



研究の背景について教えてください。

**先生** 焼酎人気が続く昨今、その製造過程で生じる“焼酎粕”は、国内で年間60万トン以上とも言われており、その処分方法には大きな関心が集まっています。これまでは中和処理後に海洋投棄を行っていましたが、「ロンドン条約(廃棄物その他の物の投棄による海洋汚染の防止に関する国際条約)」の批准(07年4月施行)によって禁止されてしまいました。このような状況下、国の研究機関から焼酎粕の有効利用について相談を受けたことがきっかけで、焼酎粕の研究を始めることになりました。



どのような研究ですか？

**先生** 焼酎粕(焼酎蒸留粕)自体は、ドロドロした液体なので、実験に使用できるよう加工が必要です。まず超遠心分離機を用い固形成分を除去、更に、ろ過処理、凍結乾燥、溶媒処理を経て、焼酎粕エキスをパウダー状にします(図1)。パウダー状に乾燥することで、保存期間を長期化できますし、様々な物質との配合が可能となり、応用性も高まります。

研究の結果、米・麦・芋の焼酎蒸留粕エキスには、種々のガン細胞に対して増殖抑制効果を示すことが明らかとなり、動物レベルにおいてもラットに対する安全性が確認できました。

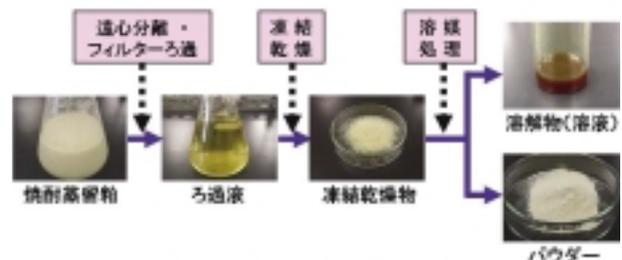


図1 研究過程における焼酎粕の処理方法



今後の展開について教えてください。

**先生** これまで実証した研究成果を基に、大学内でベンチャー企業「株式会社健康予防医学研究所」を設立し、焼酎粕を使った機能性飲料の取扱いを始めました。医薬品として成果を出すためには、莫大な時間と費用を要しますので、まずは実用化のファーストステップと考えています。



企業の皆様へ一言お願いします。

**先生** 研究室はスタッフが8名、大学院博士課程9名、大学院修士課程20名、学部4年次22名と総勢約60名の大きな研究グループです。「団結と信頼」をモットーに日々成長している学生達との共同研究への参画をお待ちしています。

特許番号 特許第2694701号  
特許第4071062号

### 《お問合せ先》

(株)FFGビジネスコンサルティング  
担当：今泉 TEL092-723-2244 FAX092-713-6486

### 1. 中国経済の現状と見通し

昨今の世界経済はサブプライム問題を発端とする世界的な金融危機により、2008年後半あたりから世界の景気は急激な悪化を辿っています。IMFやOECDなどの国際機関が、09年度の世界のGDP成長率が、戦後初めてマイナス成長に陥ると予想するなど、事態は深刻化しています。

その為、G7やG20など先進国及び新興国の首脳会議や財務相会議などの会合では、世界各国が景気浮揚の為の経済対策を打ち出す方向で協調体制を取ることが決められました。各国はそれぞれ財政出動を行い、景気の下支えをする計画を立てています。

そのような中で、中国の財政出動（景気刺激策）の規模は群を抜いています。中国の景気刺激策の総額は、今後2年間で4兆元（約60兆円）と発表されています。金額ベースではアメリカの2年＝約7870億ドル（約78兆円）には及びませんが、GDP比ではアメリカが約2.8%であるのに対し、中国は約6.5%にも上ります。

この景気対策が効果を発揮し、中国のGDP成長率は09年度もプラス8%台を達成する勢いです。世界全体がマイナス成長と予想されている中ですから、突出した数値となっています。

そもそも中国の経済成長は減速しているとはいえ、中国政府は外需から内需への転換を進めることで、09年においても8%という高い成長率を堅持しています。このような状況を見ると、中国の存在感が更に高まることは間違いありません。

グローバル企業においても欧米・日本といった先進国市場が低迷する中で活力のある中国を

中国の景気対策の内訳（単位：億元）

道路・鉄道・電気などのインフラ整備	15,000
四川大地震の復興対策費	10,000
低所得者向けの住宅開発	4,000
農村部対策	3,700
技術開発・産業構造調整対策	3,700
環境保護対策	2,100
医療・福祉・教育対策	1,500
合計	40,000



上海ワールドフィナンシャルセンターより

益々重要視せざるを得ない状況にあります。上段でも説明したとおり、中国は内需拡大に向け大きく舵を切っており、これまで以上に中国国内の消費拡大が期待されます。これは外国企業にとっても大きなビジネスチャンスであり、中国市場へ熱い視線が向けられる理由となっています。

### 2. 中国市場動向と商談会について

中国市場は従来から製造コストダウンを図る観点から「世界の工場」として位置付ける動きがありますが、一方で、近年は著しい成長を遂げる中国市場を「世界のマーケット」として位

置付ける動きが高まってきています。中国市場が注目される中、自社商品のPRを図り効率的なビジネスマッチングを行う場として、中国主要都市にて様々な商談会や展示会が開催されています。ここ上海でも年間約200程度の各種商談会及び展示会が開催されています。今回は、FFGが共催行として参加した製造業向けの「ものづくり商談会@上海(2009 SUMMER)」についてご紹介致します。

小報30～35ページにおいて、今後中国及びアジア主要都市で開催される展示会情報を掲載しておりますのでご活用ください。

### 3. ものづくり商談会@上海(2009 SUMMER)

#### 概要

商談会はNCネットワークチャイナの主催、ふくおかフィナンシャルグループ(福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行)の他、地銀8行、日本貿易振興機構(ジェトロ)上海センター等の共催により、09年7月16日、上海世貿商城(上海マート)にて開催されました。

#### 【商談会概要】

開催日時	平成21年7月16日(木) 9:00～16:00 午前：出展企業中心の商談(個別面談形式) 午後：地元サプライヤーとの商談(オープン形式)
開催場所	上海世貿商城(上海マート) 7階 中華人民共和国上海市延安西路2299号
参加対象企業	機械・金属・金型・プレス業など、中国での部品調達先や委託加工先をお探しの企業
出展社数	131社(うち、ふくおかフィナンシャルグループ取引先11社)
主催	NCネットワークチャイナ
共催	ふくおかフィナンシャルグループ(福岡銀行・熊本ファミリー銀行・親和銀行) 伊予銀行、大垣共立銀行、京都銀行、七十七銀行、常陽銀行、中国銀行、 ほくほくフィナンシャルグループ(北陸銀行・北海道銀行)、ジェトロ上海、 マークライنز
商談会の特徴	製造業(主に自動車・家電・機械など)に特化し、出展企業が買いたい製品・部品を展示する「逆見本市」形式 (各行の取引先相互、および中国企業とのビジネスマッチング)

本商談会は出展企業が調達したい商品を展示する「逆見本市」形式となっており、機械部品、電子類部品、金型部品、ゴム・プラスチック部品、材料、表面処理など合計131社の企業が参加しました。



商談会は午前と午後の2部に分けられ、出展企業のニーズを事前にヒアリングし、マッチング候補企業を選定した上での予約制で確度の高い個別商談会を行いました。午前には出展企業同士による商談、午後は中国企業などとの「個別商談」及び「フリー商談」の2本立てで構成されました。今回の「ものづくり商談会」は、FFGが参加した過去3回の商談会の中では最大規模のものとなりました。新たな取引先開拓を



狙う意欲的な中国企業など約1400社( 昨年対比 + 300社 )、約2500人( 同 + 800人 )が来場、商談件数も3000件( 同 + 300件 )に上りました。

**< 今回の商談会における F F G 取引先出展企業 11社の商談会アンケート結果 >**

- ・商談件数：438件( 1社平均40件 )
- ・うち今後成約に結びつきそうな商談件数：32件( 1社平均3件 )
- ・当商談会に関する評価( 10点満点 )  
：平均8.0点

**< 出展企業全体での比較 >**

- ・今回出展した全体的な感想

項目	前回( 08 / 07 )		今回( 09 / 07 )	
	件数	( % )	件数	( % )
大変満足	15	12%	22	17%
満足	69	54%	80	62%
普通	39	30%	26	20%
不満	3	2%	2	1%
未回答	2	2%	0	0%
合計	128	100%	130	100%

- ・次回出展の希望

項目	前回( 08 / 07 )		今回( 09 / 07 )	
	件数	( % )	件数	( % )
出展したい	66	51%	89	68%
一般来場として参加	4	3%	5	4%
出展しない	1	1%	1	1%
わからない	56	44%	32	25%
未回答	2	1%	3	2%
合計	129	100%	130	100%

今回の製造業者向け「ものづくり商談会」では、世界に先駆けて景気が回復していることを背景として中国企業の注目度が高く、来場者数や商談件数は昨年と比べて大きく増加しました。また、事前の商談先選定の精度も高まったことから、アンケートが示すとおり、出展企業の満足度合いは昨年よりも上昇しています。商談会出展企業( 中国企業 )は主に調達先を探すことを目的として出展していますが、最近では中国を販売マーケットと位置付け、販路拡大を目的として出展する企業も増えており、効率的なビジネスマッチングを図れる場となっています。

**4. まとめ**

今年10月29日、30日には「第3回日本食品展示商談会」の開催が予定されています。本食品展示商談会は F F G 他地銀 9 行主催により開催され、今回で 3 回目を迎えます。日本食品をテーマに主催銀行の中国および日本の関連企業約 120 社が出展予定となっており、日本食品をテーマにした展示会としては最大規模となる予定です。食の安全問題に注目が集まる中、クオリティの高い日本食品業者が一堂に会する本展示商談会には中国各地から、食品卸売業者、流通業関係者、飲食業関係者など多くの業界関係者が来場し、直接かつ有意義な商談が行われることが予想されます。

福岡銀行の海外駐在員事務所( 大連・上海・香港 )では、お客様が海外でビジネスを行う際に必要となる情報の収集等を行っています。今後中国でのビジネスを検討される方、商談会に御興味がある方がいらっしゃいましたら、 F F G 3 行のお取引店を通じてお気軽にお問合せください。

( 上海駐在員事務所 田中 正洋 )

## 深セン編

### 凸版印刷(香港)有限公司 凸版印刷(深セン)有限公司

今回は凸版印刷株式会社(本社：東京都台東区)の海外拠点である、凸版印刷(香港)有限公司(以下、凸版香港)と凸版印刷(深セン)有限公司(以下、凸版深セン)の2社をご紹介します。

凸版香港は1963年に設立され、当初は欧米向けの製本と香港ローカル雑誌の印刷・製本を行っていました。現在は香港のローカル雑誌の印刷をメイン業務としています。ハイテクの輪転印刷機、平台印刷機を導入し、高品質・高効率の実現と営業努力により香港の週刊・月刊誌で50%という高いシェアを獲得しています。

一方、凸版深センは凸版香港の分工場として1992年に設立されました。現在、日本向けの商業印刷と欧米向け書籍印刷が中心業務です。工場内には十数台の平台印刷機があり、手作業でしか出来ない製品(上製本・手帳・カード・絵本など)を製造しています。

ここで、位置的に近い工場(香港工場と深セン工場は直線距離で17キロ)が2つ存在している理由についてご説明します。

香港と深センの位置図



中国には報道規制をはじめとする様々な政治的規制が存在し、印刷物もその対象であり、地図を印刷する場合などにも政府の許可が必要となっています。しかしながら、一国二制度下にある香港では、規制の内容が中国本土と異なっているため、本土では断念せざるを得ない仕事でも、多くの場合、対応が可能です。このように深センで対応できない仕事を香港で対応することで、受注機会の拡大に結びつけることができ、それが当社の強みとなっています。

凸版グループでは、中国で事業展開を行っていく上で、様々なリスクを受け入れ、なおかつ中国に貢献できるビジネスを展開することができなければ成功は困難であると考えています。そのため香港と深セン両工場の経営一体化を進めてきており、この3年間の2社の連結営業利益は増加傾向にあります。



凸版深センの工場内の様子

今後は、凸版香港は香港・マカオにおいて更なるマーケットの拡大を図り、凸版深センは世界各地の凸版グループ営業所と新しいビジネススキームを構築しながら、受注シェアを伸ばしていく予定です。そして、中国国内の凸版グループ各生産拠点との融合を進め、一丸となり中国印刷業界ナンバーワンを目標に掲げ、成長していくことを目指しています。

(香港駐在員事務所 末松 尚樹)

## PROFILE

現地法人名 / TOPPAN PRINTING CO.,(H.K.) LTD.

### 凸版印刷(香港)有限公司

住 所 / 1 Fuk Wang Street, Yuen Long Industrial Estate, Yuen Long, New Territories, H K

T E L / +852 2561 0101

F A X / +852 2475 4321



凸版香港・外観

### 現地法人名 / 凸版印刷(深セン)有限公司

住 所 / 深セン市宝安区創業路27工業区

T E L / +86 755 2796 3311

F A X / +86 755 2796 3262



凸版深セン・外観

親会社名 / 凸版印刷株式会社

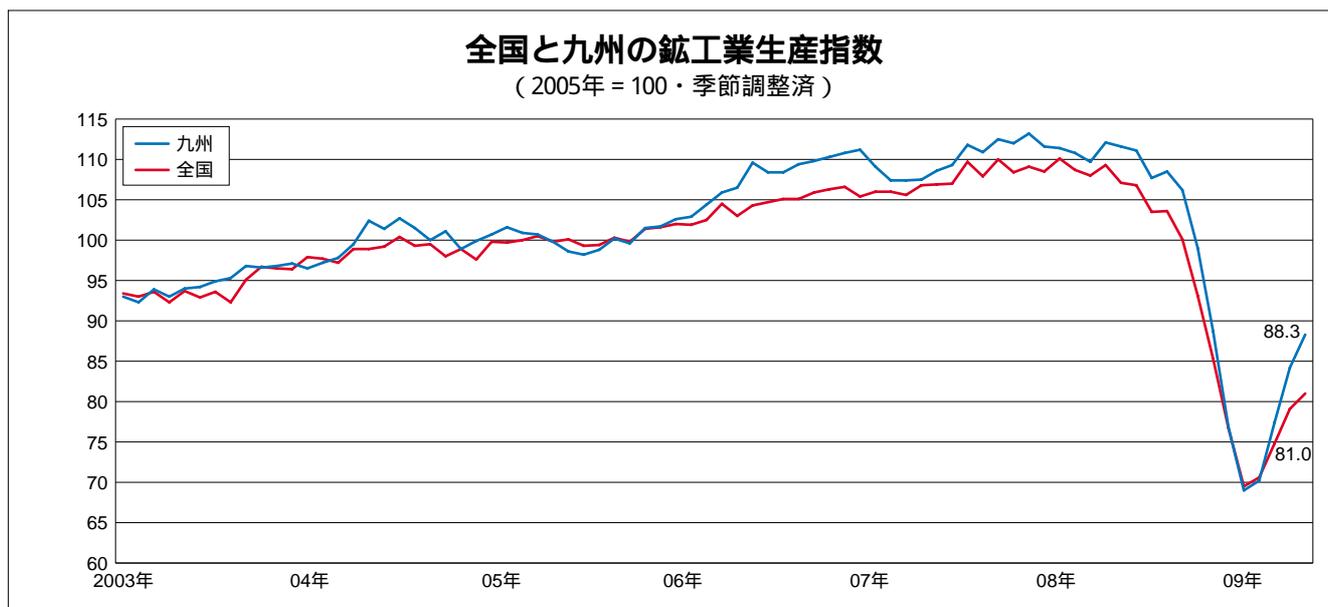
住 所 / 東京都台東区台東1 5 1

T E L / 03 3835 5111(代表)

## 九州の鉱工業生産動向

### [ 基調判断 ].....在庫調整の進展などにより、持ち直しで推移している

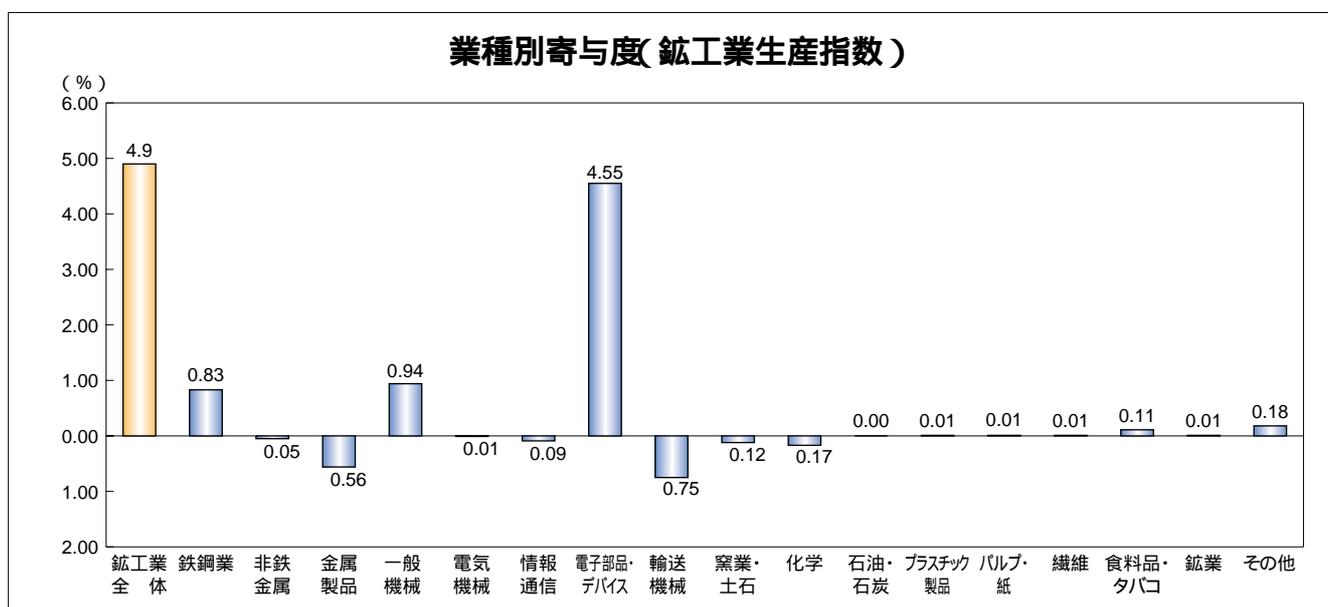
2009年6月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、在庫調整などが進展しており、前月比4.9%上昇し4ヵ月連続で前月実績を上回りました。九州地区の生産には全国を上回る勢いで持ち直しの動きがみられます。



(出所)九州経済産業局

### [ 業種別動向 ].....電子部品・デバイス工業が大きく上昇

鉱工業生産指数の前月比4.9%上昇について、業種別に寄与度を見ると、輸送機械、金属製品などでマイナスになったものの、ゲーム機やデジタル家電などに使う製品の需要が堅調だったこともあり、電子部品・デバイス工業など全17業種中9業種でプラスとなりました。



(出所)九州経済産業局

## 福岡県の最近の経済動向

### [ 福岡県の景気 ] ..... 生産活動で持ち直しの動き

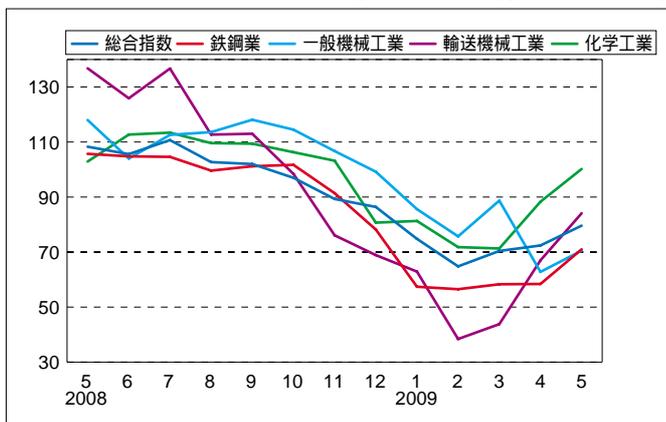
生産活動は、多くの業種で持ち直しの動きが見られます。

しかしながら消費は依然として生活防衛意識が強く、大型小売店販売額は前年を回っています。また、住宅投資や公共投資でも前年を下回りました。企業倒産も、件数、負債総額ともに増加しました。

福岡県の景気は、厳しい情勢にあるものの、生産活動などが持ち直し、回復の兆しが出てきているといえます。

### [ 生産活動 ] ..... 総合指数は3ヵ月連続で上昇

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100)



(出所)福岡県

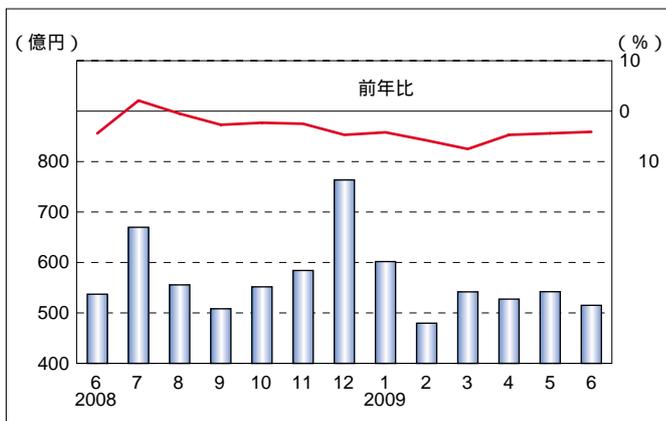
5月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、基幹産業である自動車や鉄鋼などで減産幅を緩和したことなどの影響で、総合指数は79.6と、前月比9.9%上昇しました。

総合指数の上昇は3ヵ月連続となり、生産活動は持ち直しているといえます。

主要業種では、すべての業種が上昇で推移しており、鉄鋼は前月比21.6%、一般機械は前月比12.3%、輸送機械は前月比25.5%、化学は前月比13.5%の上昇率でした。

### [ 大型小売店 ] ..... 百貨店は減少、大型スーパーは微増

福岡県の大型小売店販売額



(出所)九州経済産業局

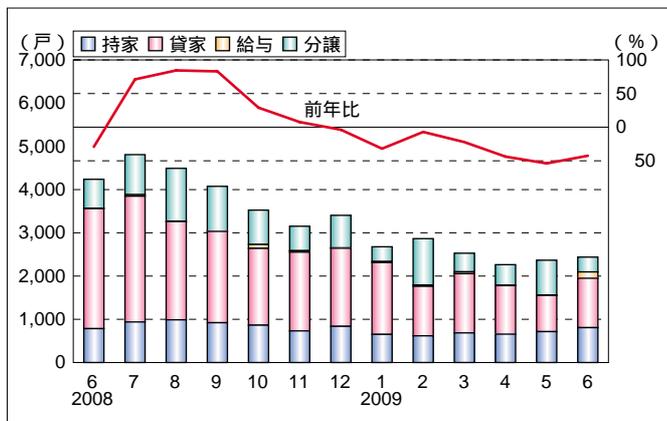
百貨店では、バーゲンセールの前倒しにより婦人衣料などに動きが見られましたが、販売額の伸びる日曜日が1日少なかったことなども響き売上を伸ばせず前年比9.2%減となりました。

一方スーパーは、消費者が外食を控える節約志向の影響で、商品単価は下落傾向にあるものの食料品が堅調で、前年比0.1%増加しました。

トータルでは前年比4.0%減の515億円となり、依然として消費者の生活防衛意識が強く働いているようです。

## [ 住宅建設 ].....貸家・分譲の減少が著しく7ヵ月連続の前年割れ

福岡県の新設住宅着工戸数



(出所)国土交通省

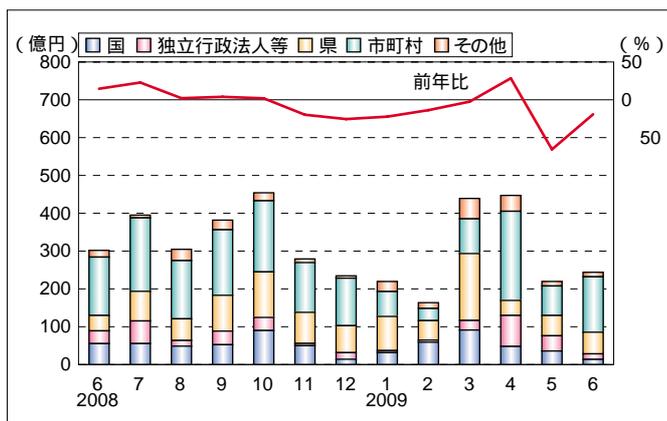
6月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比2.9%増の807戸、貸家で同58.8%減の1,143戸、分譲で同48.7%減の343戸となり、全体では同42.5%減の2,439戸となりました。

前年同月と比較すると貸家・分譲の着工が著しく減少していますが、これは住宅分野の市場の冷え込みから、在庫処分を優先させる業者の動向が、着工を抑制しているためと考えられます。

そのような中、持ち家では前年比で増加しています。長期優良住宅制度が6月から始まったことが影響していると考えられます。

## [ 公共工事 ].....件数は増加、請負金額は減少

福岡県の公共工事請負高



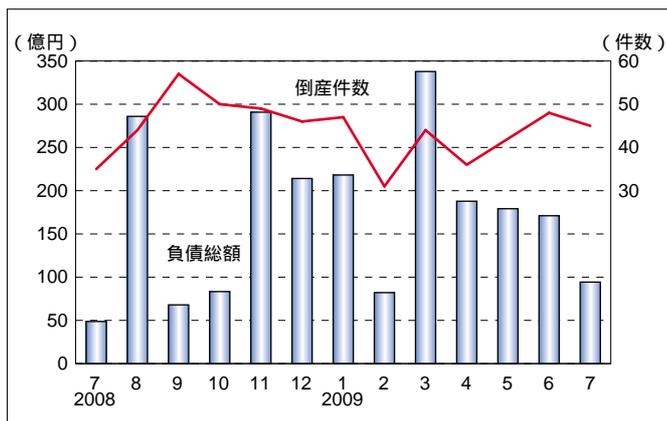
(出所)西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数については政府の景気対策の効果もあって前年比17.6%増の636件となりましたが、金額は同19.2%減の244億円となりました。

発注者別では、「県」が藤波ダム建設の大型案件などで前年比40.6%増となりましたが、「国」「独立行政法人」「市町村」「その他公共的団体」で発注が減少しました。

## [ 企業倒産 ].....倒産件数、負債総額ともに増加

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

7月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、前月比では件数、金額とも減少しているものの、前年比では件数は10件増加の45件、負債総額は同93.6%増となる94億円となりました。

スーパー経営の大型倒産(負債総額16億円)が発生したほか、中小企業の資金繰りを支援する緊急保証制度を利用した企業の倒産も発生しており、先行きは不透明です。

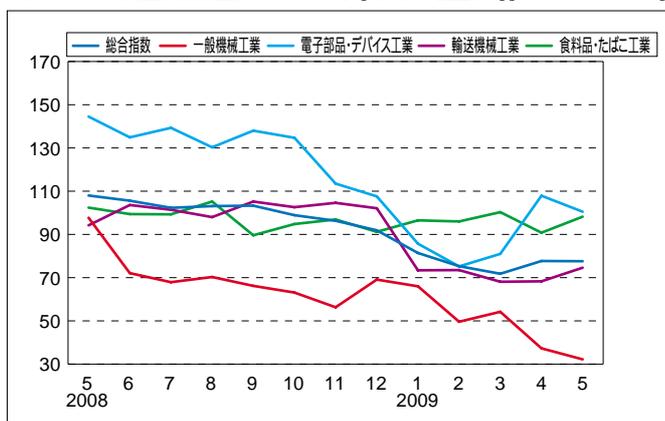
### 熊本県の最近の経済動向

#### [ 熊本県の景気 ].....厳しいながら回復の兆しもみられる

生産面では、電子部品・デバイスなどは低下したものの、総合指数はほぼ前月並みとなりました。個人消費は所得環境の悪化などにより節約志向が続いていますが、住宅建設は貸家の増加でプラスとなるなど明るい材料もみられます。公共工事は九州新幹線関連工事などにより一服感が見られますが、企業倒産は低水準で推移するなど、厳しいながら回復の兆しもみられます。

#### [ 生産活動 ].....電子部品・デバイスや一般機械が低下し、総合指数は横ばい

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



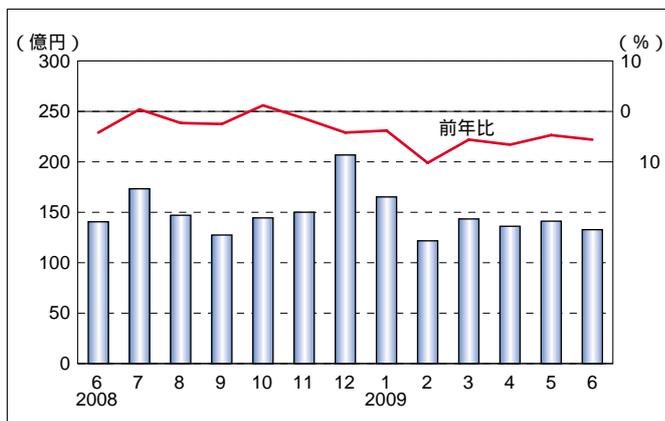
(出所)熊本県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比0.1%低下し77.6となりました。

輸送機械や食料品・たばこは前月比上昇しましたが、集積回路の減産による電子部品・デバイスや、特殊産業機械など一般機械は低下したため、総合指数としては先月からほぼ横ばいとなっています。

#### [ 大型小売店 ].....節約志向で紳士服や家具の落ち込み大きく前年比5.6%減

熊本県の大型小売店販売額

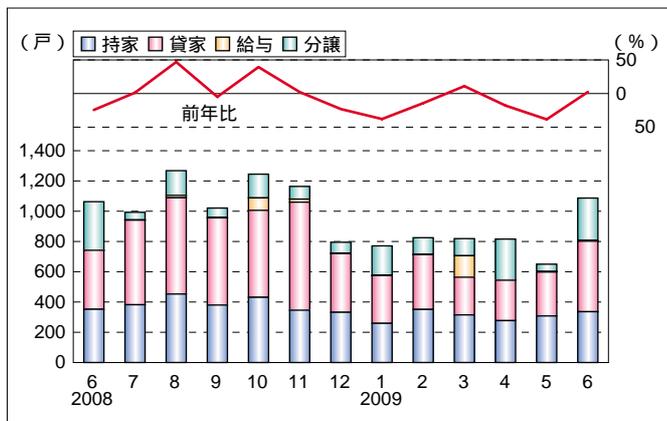


(出所)九州経済産業局

6月の県内大型小売店販売高は、販売額が伸びる日曜日が昨年より1日少なかったこともあり、前年比5.6%減の133億円と前年実績を下回りました。紳士服や家具などが大きく落ち込むなか、お中元ギフトの早期受注などで食品には動きが見られ、前年同月比2.6%減少とマイナス幅は小幅でした。

## [ 住宅建設 ] ..... 貸家の増加などで前年比2.3%増

熊本県の新設住宅着工戸数

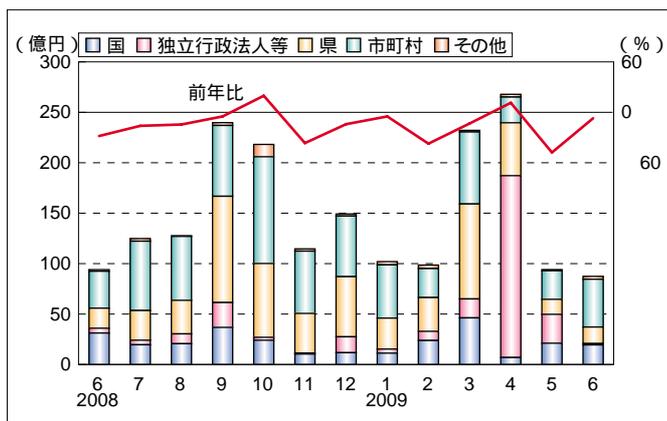


(出所)国土交通省

6月の新設住宅着工戸数は、全体では前年比2.3%増の1,087戸と、前年を上回りました。持家で前年比4.5%減の466戸、分譲は同12.5%減の280戸となりましたが、昨年12月以来、着工を見合わせていた貸家に動きがみられ、同19.5%増の466戸と大きく増加しました。

## [ 公共工事 ] ..... 件数、請負金額ともに減少

熊本県の公共工事請負高



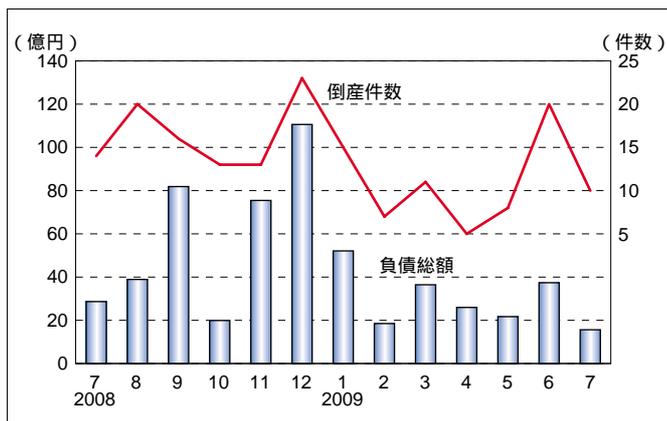
(出所)西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比4.8%減の317件、金額が同7.1%減の87億円と、件数、請負金額ともに前年同月を下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は同37.8%減、「独立行政法人等」は九州新幹線関連工事が発生せず同72.0%減となり、「県」は同17.5%減、「市町村」で同29.6%増、「その他」で同77.7%増と、合計では前年を下回りました。

## [ 企業倒産 ] ..... 件数、負債総額ともに低水準

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

7月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比28.6%減の10件、負債総額が同45.5%減の15億6,200万円となりました。緊急融資制度の効果などにより、前年に比べて、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

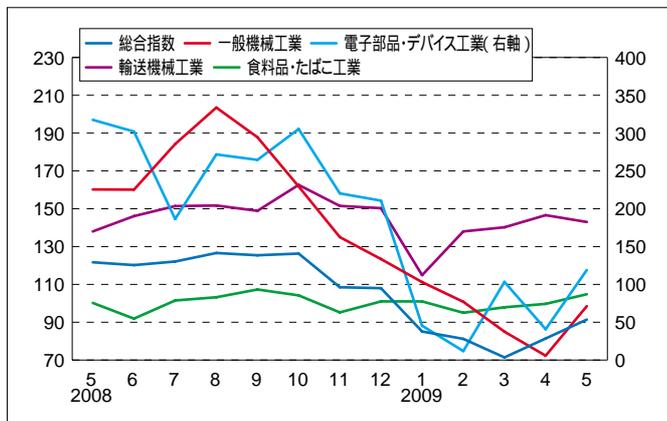
## 長崎県の最近の経済動向

### [ 長崎県の景気 ].....生産活動は持ち直し傾向が続く

生産面では、一般機械や電子部品・デバイスの増加などにより、鉱工業生産総合指数は2ヵ月連続で前月比プラスとなりました。大型小売店販売額は前年割れが続く、住宅投資の動きが弱いものの、県や市町からの前倒し発注に加え、国からの発注増で公共工事は増加しました。

### [ 生産活動 ].....2ヵ月連続で総合指数はプラス

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



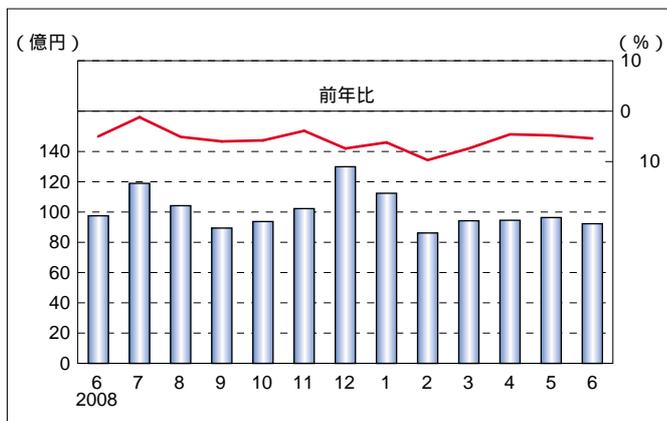
(出所)長崎県

5月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は91.4と前月比12.3%上昇し、2ヵ月連続で上昇しました。

輸送機械は前月比僅かに低下しましたが、ボイラ、タービン、クレーンが寄与した一般機械、集積回路やシリコンウエハが増加した電子部品・デバイスや食料品・たばこ等は前月比上昇しました。

### [ 大型小売店 ].....節約志向が続く、前年比5.3%減

長崎県の大型小売店販売額



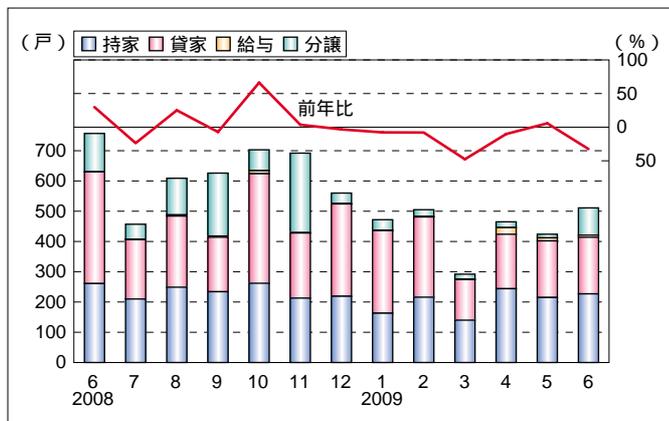
(出所)九州経済産業局

6月の県内大型小売店販売高は、節約志向が続くなか、ギフトセールなどが振るわず、前年比5.3%減の92億円となりました。

業態別にみると、百貨店の販売高は家電が伸びているものの、衣料品や家具の落ち込みで同6.1%減、大型スーパーの販売高は、比較的堅調な食料品が下支えとなり同4.9%の減少に留まっています。

## [ 住宅建設 ] ..... 貸家の減少が響き前年比32.5%減

長崎県の新設住宅着工戸数

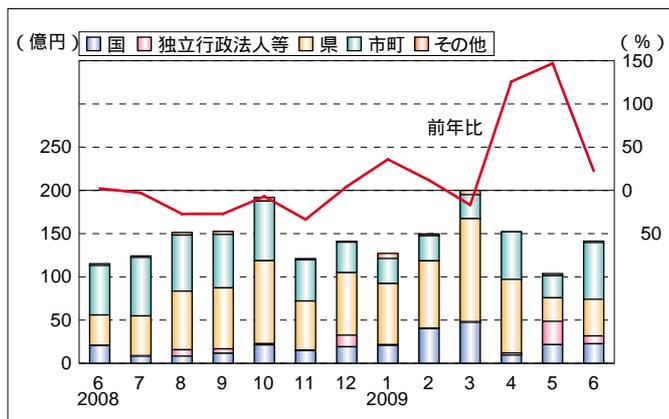


(出所) 国土交通省

6月の新設住宅着工戸数は、持家で前年比13.0%減の215戸、貸家では同49.3%減の187戸、分譲で同29.1%減の90戸となりました。分譲は前月比増加したものの、前年同月の貸家の実績が大きかった反動もあり、全体では同32.5%減の511戸と前年を下回りました。

## [ 公共工事 ] ..... 「国」「独立行政法人」等からの受注増で件数金額とも増加

長崎県の公共工事請負高



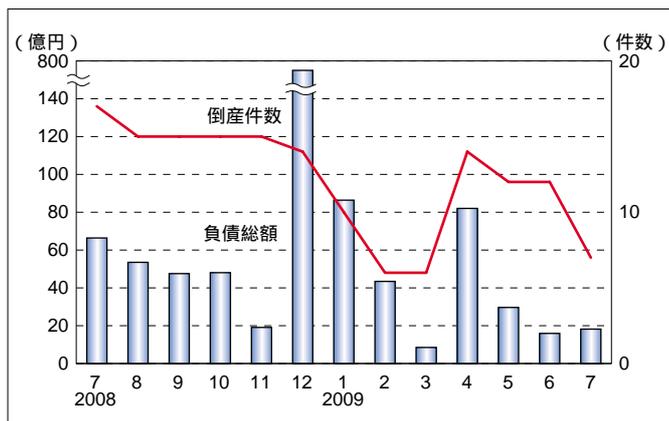
(出所) 西日本建設業保証

6月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比35.9%増の390件、金額が同22.6%増の141億円と、件数、請負金額とも前年比大幅に増加しました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は佐世保高架橋工事などで、「独立行政法人」では長崎大学病院の改修工事と西九州自動車道で、「県」は工事の前倒し発注などで前年比20.1%増、「市町」では壱岐市漁港整備のほか小口の積み上げで同14.6%増加しました。

## [ 企業倒産 ] ..... 件数、負債総額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

7月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比58.8%減の7件、負債総額が同72.6%減の18億2,000万円となりました。4月以降、公共工事の前倒し発注効果などもあり、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

# 経済指標 | 全国のデータ

項目 年月	鉱工業指数 (2005年 = 100)						機械受注金額 (船舶・電力 を除く民需) 前年(%)	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)	
	生産指数		出荷指数		在庫指数			輸出金額 前年(%)	輸入金額 前年(%)	億円	前年(%)	億円	前年(%)
	季調値	前年(%)	季調値	前年(%)	季調値	前年(%)							
2006年	104.5	1.3	104.6	4.6	102.1	2.1	4.0	14.6	18.3	120,859	9.2	99,994	2.7
2007年	107.4	2.8	107.8	3.1	103.9	1.7	4.0	11.5	8.6	119,268	1.3	89,722	10.3
2008年	103.8	3.3	104.3	3.2	106.7	2.7	6.0	3.5	8.0	115,901	2.8	99,741	11.2
2008.5	109.3	0.9	109.7	1.5	105.3	1.5	6.1	3.6	4.8	7,675	9.6	9,153	3.3
6	107.1	0.2	106.9	0.8	106.2	2.6	3.9	1.8	16.7	9,743	11.3	8,430	36.5
7	106.8	2.3	107.4	3.0	106.3	2.1	2.2	7.9	18.2	12,202	13.8	11,858	67.6
8	103.5	7.2	103.9	7.1	106.1	1.7	11.1	0.2	17.1	9,253	6.0	9,133	67.5
9	103.6	0.4	104.0	0.5	107.7	3.1	3.8	1.5	28.8	11,724	5.5	7,521	66.4
10	100.1	6.6	100.9	7.1	108.9	4.4	5.3	7.9	7.4	11,697	0.4	8,466	38.3
11	93.1	16.5	93.6	17.0	109.5	4.3	12.2	26.8	14.4	8,443	2.8	7,303	2.6
12	85.3	20.7	86.0	20.7	109.7	4.8	2.7	35.0	21.5	7,850	6.4	8,815	14.0
2009.1	76.7	30.9	76.7	31.6	108.0	2.8	3.8	45.7	31.9	6,019	1.9	7,649	19.9
2	69.5	38.4	72.0	36.7	103.5	1.7	0.6	49.4	43.0	6,349	2.8	7,908	29.2
3	70.6	34.2	73.1	32.4	99.8	5.2	1.3	45.5	36.6	15,969	15.3	6,571	22.2
4	74.8	30.7	75.3	30.7	97.1	7.2	5.4	39.1	35.8	13,288	20.5	6,107	24.8
5	79.1	29.5	78.9	30.0	96.4	8.4	3.0	40.9	42.4	7,866	2.5	5,289	42.2
6	80.9	23.5	81.7	22.6	95.3	10.3	9.7	35.7	41.9	10,977	12.7	6,709	20.4
出所	経済産業省						内閣府	財務省		西日本建設業保証		国土交通省	

項目 年月	新設住宅着工戸数					企業物価指数 (2005年 = 100)		消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		乗用車	
	合計		持家	貸家	分譲	指数	前年(%)	指数	前年(%)	億円	前年(%)	乗用車新規登録台数	
	戸	前年(%)	前年(%)	前年(%)	前年(%)							台	前年(%)
2006年	1,290,391	4.4	1.5	7.8	2.7	102.2	2.2	100.3	0.3	211,450	0.9	3,126,249	6.8
2007年	1,060,741	17.8	12.2	18.7	22.3	104.0	1.8	100.3	0.0	211,988	0.3	2,945,668	5.8
2008年	1,093,485	3.1	1.2	5.2	1.8	108.8	4.6	101.7	0.3	209,511	1.2	2,793,626	5.2
2008.5	90,804	6.5	5.7	8.6	3.1	108.9	4.9	101.7	1.3	16,944	0.6	190,337	4.4
6	100,929	16.7	6.6	15.1	27.2	109.9	5.8	102.2	2.0	16,904	2.7	242,323	1.8
7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	112.4	7.5	102.4	2.3	18,659	0.2	267,263	9.4
8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	112.5	7.6	102.7	2.1	16,527	1.0	165,653	12.9
9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	111.8	7.0	102.7	2.1	15,589	2.1	269,056	5.6
10	92,123	19.8	4.3	35.4	28.9	109.5	4.5	102.6	1.7	16,668	2.9	202,119	13.4
11	84,277	0.0	11.7	1.7	11.0	107.5	2.4	101.7	1.0	17,820	1.7	185,941	27.9
12	82,197	5.8	7.3	4.1	7.5	106.3	0.9	101.3	0.4	21,590	4.8	157,939	22.9
2009.1	70,688	18.7	10.8	18.4	26.4	104.7	0.9	100.7	0.0	18,069	3.8	153,273	28.0
2	62,303	24.9	9.9	28.5	34.4	104.2	1.9	100.4	0.1	14,497	6.7	193,398	32.2
3	66,628	20.7	13.1	11.2	42.1	104.0	2.5	100.7	0.3	16,514	6.7	285,640	31.0
4	66,198	32.4	15.8	33.0	54.3	103.4	3.9	100.8	0.1	15,960	5.0	146,229	27.2
5	62,805	30.8	14.9	33.3	48.1	102.9	5.5	100.6	1.1	16,185	4.5	159,410	16.2
6	68,268	32.4	10.5	38.4	50.0	102.5	6.7	100.4	1.8	16,029	5.2	219,506	9.4
出所	国土交通省					日本銀行		総務省		経済産業省		日本自動車販売協会連合会	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	完全 失業率	倒産件数		預金残高		貸金残高	
	軽自動車販売台数		可処分所得		消費支出				件	前年(%)	百億円	前年(%)	百億円	前年(%)
	台	前年(%)	円	前年(%)	円	前年(%)								
2006年	1,507,598	8.7	441,448	0.1	320,231	2.8	1.06	4.1	13,245	1.9	52,659	0.4	40,035	1.8
2007年	1,447,106	4.0	442,505	0.2	323,459	1.0	1.04	3.9	14,091	6.4	54,251	3.0	40,440	1.0
2008年	1,426,979	1.4	442,749	0.1	324,929	0.5	0.88	4.0	15,646	11.0	55,369	2.1	42,147	4.2
2008.5	105,387	2.1	338,573	1.7	315,152	0.6	0.93	4.0	1,290	1.5	54,992	1.6	40,253	2.1
6	121,176	3.8	594,393	2.1	307,975	2.6	0.90	4.1	1,324	11.7	55,428	2.9	40,436	2.1
7	115,534	2.1	483,915	1.2	330,483	2.7	0.88	4.0	1,372	12.9	54,877	2.0	40,387	2.2
8	89,142	2.4	412,235	4.8	322,501	0.7	0.85	4.1	1,254	4.2	54,705	2.2	40,418	2.0
9	127,838	1.9	359,201	1.0	307,778	1.1	0.83	4.0	1,408	34.5	54,940	2.3	40,619	1.8
10	112,288	10.2	405,982	2.4	313,544	4.0	0.80	3.8	1,429	13.4	54,499	1.8	40,931	3.5
11	109,197	3.3	366,664	0.3	310,146	2.4	0.76	4.0	1,277	5.3	55,163	1.6	41,364	4.2
12	93,759	6.0	821,280	1.7	365,435	3.7	0.73	4.3	1,362	24.2	55,369	2.1	42,147	4.2
2009.1	102,104	3.9	369,201	0.6	321,732	5.7	0.67	4.1	1,360	15.8	55,118	1.7	41,872	4.5
2	130,279	8.7	390,292	3.1	295,494	1.0	0.59	4.4	1,318	10.4	55,570	2.2	41,948	4.5
3	177,091	11.0	366,163	3.5	344,643	0.5	0.52	4.8	1,537	14.1	56,470	2.6	42,226	4.3
4	89,585	14.4	386,444	1.3	344,514	0.3	0.46	5.0	1,329	9.4	56,407	2.4	41,797	4.1
5	84,990	19.4	341,748	0.9	317,195	0.6	0.44	5.2	1,203	6.7	56,311	2.4	41,700	3.6
6	99,549	17.8	563,050	5.3	299,439	2.8	0.43	5.4	1,422	7.4	56,832	2.5	41,594	2.9
出所	全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省	総務省	東京商工リサーチ	日本銀行				

(注) pは速報値、rは修正値。鉱工業指数は、前年同期比の値と年間の指数は原数値、月間の指数は季節調整値。機械受注金額は、年間は前年比、月間は前月比。着工建築物工事費予定額(民間発注分)は、会社、会社でない団体、個人が建築主となっている工事の合計。大型小売店販売額は、店舗調整前の値。家計消費支出の前年比は、名目値の前年比。可処分所得・消費支出は、2人以上の世帯のうち勤労者世帯(農林漁業世帯を含む)。有効求人倍率は、年間は実数値、月間は季節調整値。新規学卒を除きパートタイムを含む。完全失業率は季節調整値。預金貸金残高は年末、月末残高。都市銀行、地方銀行、第二地方銀行、信託銀行、長期信用銀行の合計、ただし、特別国際金融取引動定を含まない。

# 経済指標 | 福岡県のデータ

項目 年月	鉱工業生産指数 (2005年 = 100)										鉱工業出荷指数 (2005年 = 100)		鉱工業在庫指数 (2005年 = 100)	
	総合		鉄鋼		電気機械		一般機械		輸送機械		季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)				
2006年	102.6	2.6	102.6	2.6	109.3	9.3	98.3	1.7	107.4	7.4	103.0	3.0	113.8	13.8
2007年	102.4	0.2	105.9	3.3	113.6	3.9	101.2	2.9	112.3	4.6	102.7	0.3	122.3	7.4
2008年	102.7	0.3	100.8	4.9	116.3	2.4	113.7	12.4	113.4	1.0	101.6	1.1	122.1	0.1
2008.5	108.3	10.6	105.7	2.5	107.8	2.3	118.0	25.9	136.8	46.5	109.3	12.9	116.2	10.1
6	105.6	6.7	104.8	1.5	120.4	0.1	104.0	5.9	125.9	21.7	104.6	5.7	125.6	0.4
7	110.7	10.3	104.6	5.4	116.5	0.6	112.6	12.6	136.7	37.2	113.8	13.8	117.2	0.1
8	102.7	4.9	99.6	8.2	113.5	0.7	113.6	8.6	112.7	13.0	100.5	7.6	124.9	1.6
9	102.0	0.1	101.2	5.8	117.6	6.0	118.1	9.3	113.0	2.2	101.4	1.2	115.8	9.8
10	97.0	9.4	101.7	2.1	110.4	7.4	114.5	8.2	98.4	24.3	95.1	11.4	119.2	6.2
11	89.3	16.8	91.4	14.3	112.1	6.2	106.7	0.5	76.1	42.6	83.3	23.0	124.6	4.0
12	86.4	18.7	78.2	27.5	108.9	7.8	99.2	7.5	68.9	46.9	81.3	24.2	129.1	2.9
2009.1	74.8	29.5	57.4	45.9	88.5	29.4	85.6	21.5	62.9	49.7	71.6	33.1	122.0	4.5
2	64.8	41.4	56.5	47.4	72.5	41.8	75.7	34.8	38.4	71.4	60.0	46.2	122.3	6.1
3	70.4	34.2	58.3	43.2	69.8	40.2	88.7	29.8	43.8	63.4	65.5	38.0	119.7	3.1
4	72.4	32.2	58.4	45.2	63.8	47.5	62.8	48.0	67.0	45.2	73.0	31.6	118.1	7.1
5	79.6	28.2	71.0	33.4	62.1	43.8	70.5	40.3	84.1	39.7	78.0	30.6	112.1	3.8
6														
出所	福岡県調査統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	合計		持家	貸家	分譲	福岡市		百万円	前年比 (%)
	前年比 (%)	前年比 (%)					戸	前年比 (%)				指数	前年比 (%)		
2006年	9.2	23.6	4,252	11.7	3,586	21.8	58,952	8.4	1.5	9.8	15.2	100.1	0.1	709,923	1.8
2007年	17.0	11.6	4,673	9.9	3,661	2.1	45,066	23.6	9.8	21.1	40.2	100.0	0.1	716,699	1.0
2008年	8.4	2.2	4,262	8.8	3,680	0.5	47,139	4.6	0.3	3.0	30.3	101.0	1.0	700,451	2.3
2008.5	23.9	0.9	639	27.4	254	31.4	5,133	34.3	2.6	9.8	190.2	101.0	1.1	56,625	0.1
6	12.6	11.0	302	14.6	449	36.6	4,239	29.2	7.7	28.7	46.0	101.5	1.5	53,661	4.5
7	30.7	6.7	395	22.8	404	96.6	4,809	71.1	33.6	78.0	96.2	101.8	2.0	66,792	1.8
8	28.8	8.8	305	2.1	439	268.1	4,492	84.4	18.8	114.9	124.7	102.0	1.6	55,357	0.9
9	20.4	23.4	382	3.9	305	3.2	4,076	83.0	7.2	109.0	192.1	101.8	1.5	50,624	3.0
10	6.7	0.3	454	1.9	389	165.7	3,526	29.0	11.9	18.5	215.5	101.7	1.1	55,165	2.3
11	19.0	19.1	279	19.8	192	14.7	3,153	7.6	18.8	9.7	57.7	101.0	0.6	58,411	2.5
12	38.4	18.4	235	25.5	260	14.9	3,405	3.8	4.4	9.7	3.0	100.6	0.2	76,361	4.6
2009.1	48.5	37.6	220	22.3	166	47.0	2,678	32.0	15.8	7.0	75.1	100.1	0.1	60,176	4.1
2	51.1	43.8	164	13.7	140	48.4	2,866	7.1	14.2	35.8	88.2	99.6	0.1	48,000	5.7
3	43.6	36.0	439	2.5	212	10.7	2,529	22.2	13.5	21.7	18.3	99.8	0.4	54,171	7.4
4	29.1	36.5	447	28.4	144	32.8	2,264	43.8	20.4	52.7	41.8	100.2	0.2	52,740	4.6
5	40.1	36.7	220	65.6	200	21.3	2,367	53.9	18.0	67.9	50.2	100.0	1.0	54,205	4.3
6	27.4	37.0	244	19.2	190	57.6	2,439	42.5	2.9	58.8	48.7	99.7	1.8	51,505	4.0
出所	門司税関		西日本建設業保証				国土交通省					総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車		家計消費支出(勤労者世帯)						有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高		
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	
	台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)							
2006年	116,406	7.4	60,043	9.4	407,739	0.5	318,997	2.4	0.85	502	4.6	167,812	1.0	131,749	0.5
2007年	110,632	5.0	57,556	4.1	389,439	4.5	307,328	3.7	0.85	504	0.4	170,787	1.8	134,357	2.0
2008年	105,889	4.3	56,454	1.9	396,303	1.8	312,775	1.8	0.63	545	8.1	174,098	1.9	137,598	2.4
2008.5	7,072	5.6	4,221	0.2	294,944	0.4	300,615	5.3	0.66	46	14.8	172,630	1.9	134,779	3.2
6	9,219	1.4	4,837	0.3	503,503	6.2	269,269	3.8	0.64	49	14.0	173,715	1.8	134,503	2.7
7	10,165	10.2	4,917	2.6	420,958	1.8	302,615	4.1	0.63	35	27.1	171,812	2.4	134,699	2.4
8	6,717	11.4	3,643	6.7	390,492	18.3	332,145	1.8	0.61	44	18.9	172,509	2.8	134,982	2.8
9	10,149	2.0	5,007	4.2	325,291	0.2	284,109	7.5	0.60	57	23.9	170,756	1.0	133,772	0.9
10	7,731	11.1	4,067	2.5	359,273	7.3	291,289	17.1	0.58	50	13.6	171,011	2.1	133,939	2.1
11	7,306	24.2	4,392	3.1	328,971	3.4	269,173	7.1	0.57	49	4.3	172,075	2.1	135,213	2.0
12	5,790	26.8	3,476	8.9	719,021	0.2	321,059	15.1	0.54	46	17.9	174,098	1.9	137,598	2.4
2009.1	5,669	28.8	4,317	0.6	331,081	3.5	280,795	15.9	0.53	47	27.0	174,047	2.6	137,893	3.5
2	7,411	32.9	5,451	4.9	340,334	11.3	320,857	10.6	0.49	31	3.1	174,802	3.0	139,537	3.8
3	10,067	33.1	7,210	7.5	363,562	4.9	302,707	12.6	0.47	44	26.7	173,123	2.0	138,830	2.8
4	5,626	26.8	3,443	14.5	363,157	6.8	345,229	0.4	0.44	36	10.0	176,984	2.1	139,053	3.8
5	5,830	17.6	3,058	27.6	321,803	9.1	288,607	4.0	0.41	42	8.7	177,992	3.1	139,664	3.6
6	8,068	12.5	4,109	15.1	512,642	1.8	265,019	1.6	0.39	48	2.0	177,869	2.4	136,965	1.8
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会				総務省		厚生労働省	東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 掲載指標についての説明は全国の注釈参照。

# 経済指標 | 熊本県のデータ

項目 年月	鉱工業生産指数 (2005年 = 100)										鉱工業出荷指数 (2005年 = 100)		鉱工業在庫指数 (2005年 = 100)	
	総合		食料品		電子部品		一般機械		輸送機械		季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)				
2006年	109.6	9.6	100.5	0.5	122.5	22.5	111.0	11.0	99.2	0.8	108.6	8.6	112.0	12.0
2007年	109.3	0.3	99.3	1.2	137.8	12.5	118.0	6.3	91.9	7.4	108.3	0.3	113.2	1.1
2008年	103.5	5.3	98.1	1.2	138.6	0.6	78.1	33.8	94.4	2.7	100.9	6.8	124.4	9.9
2008.5	108.0	0.3	102.4	11.3	144.5	88.0	97.7	20.9	94.2	34.0	105.9	1.8	117.0	40.5
6	105.6	0.1	99.4	13.4	134.9	78.5	72.1	38.1	103.6	22.5	101.3	0.3	120.3	45.2
7	102.3	2.5	99.3	5.7	139.3	84.4	67.9	49.6	101.4	26.7	102.3	1.8	124.8	46.2
8	103.1	2.7	105.2	7.7	130.3	71.3	70.3	42.6	98.0	27.9	100.3	6.4	122.3	43.9
9	103.3	1.3	89.6	4.3	138.0	0.5	66.2	30.0	105.2	20.7	103.3	0.9	119.2	4.7
10	98.9	8.2	94.8	1.4	134.7	9.2	63.1	42.1	102.6	8.1	97.0	11.1	126.9	14.2
11	96.3	12.6	96.9	2.5	113.5	22.9	56.3	43.2	104.6	11.2	95.1	14.2	134.7	18.8
12	91.9	11.0	91.2	1.1	107.6	22.2	69.1	40.1	102.1	27.8	88.9	11.3	143.5	26.3
2009.1	81.4	23.2	96.5	2.7	85.7	43.2	66.0	27.7	73.4	7.1	80.5	19.8	144.9	16.6
2	75.3	31.9	96.0	7.9	75.2	53.6	49.6	45.2	73.5	10.4	75.6	28.5	145.8	13.4
3	71.8	34.2	100.3	1.2	81.0	50.6	54.2	32.2	68.1	8.7	74.1	30.5	120.3	1.8
4	77.7	29.2	92.2	5.3	107.9	30.2	37.3	68.0	68.3	22.2	76.9	28.2	112.9	0.5
5	77.6	29.8	68.2	5.3	100.5	33.7	32.2	65.8	74.6	23.6	77.6	28.7	114.4	2.3
6														
出所	熊本県統計課													

項目 年月	貿易		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				消費者物価指数 (2005年 = 100)		大型小売店 販売額		
	輸出金額	輸入金額	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	合計		持家	貸家	分譲	熊本市		百万円	前年比 (%)
	前年比 (%)	前年比 (%)					戸	前年比 (%)				前年比 (%)	前年比 (%)		
2006年	11.5	9.6	2,077	24.8	1,165	5.5	14,805	5.5	2.7	7.6	20.6	100.0	0.0	188,840	0.4
2007年	3.9	20.8	2,071	0.3	1,289	10.6	13,286	10.3	8.1	7.2	27.3	99.9	0.1	187,676	0.6
2008年	2.6	26.7	2,021	2.4	1,098	14.8	12,542	5.6	0.3	8.7	10.5	101.1	1.2	184,134	1.9
2008.5	27.0	21.8	180	11.4	73	65.1	1,056	31.0	12.0	24.1	79.5	101.0	1.1	14,822	1.1
6	6.8	11.6	94	28.2	81	43.7	1,063	24.4	16.6	57.3	363.8	101.4	1.7	14,057	4.2
7	0.9	70.7	125	16.1	177	164.2	993	1.3	22.8	10.6	42.9	101.5	2.0	17,330	0.4
8	4.0	64.3	128	14.5	93	57.7	1,268	46.9	18.3	50.7	181.0	101.8	1.6	14,706	2.3
9	102.4	53.7	240	4.9	77	28.1	1,021	4.9	5.5	23.9	69.6	102.2	1.8	12,747	2.5
10	40.9	49.2	218	19.8	75	62.9	1,245	39.4	14.0	24.2	201.9	102.3	1.9	14,444	1.2
11	31.4	30.0	115	36.6	82	11.8	1,164	2.2	11.1	9.5	58.5	101.4	1.1	15,006	1.4
12	53.3	26.8	149	14.1	82	19.1	795	23.1	4.3	24.2	52.3	101.1	0.8	20,683	4.2
2009.1	54.2	18.4	102	4.9	43	62.8	771	37.9	15.4	58.5	11.4	100.6	0.6	16,524	3.0
2	55.3	3.0	99	37.3	50	62.6	825	14.3	17.8	34.5	0.0	100.2	0.2	12,200	10.0
3	56.2	53.1	232	13.3	36	46.8	819	11.0	6.4	36.6	135.4	100.6	0.3	14,319	5.7
4	9.0	37.9	268	11.3	54	28.8	816	17.9	35.4	34.2	90.1	100.8	0.7	13,614	6.6
5	13.5	60.4	94	47.8	58	20.1	650	38.4	4.9	56.8	15.8	100.5	0.5	14,120	4.7
6	6.3	22.1	87	7.1	54	33.1	1,087	2.3	4.5	19.5	12.5	100.4	1.0	13,275	5.6
出所	門司税関		西日本建設業保証				国土交通省					総務省		九州経済産業局	

項目 年月	乗用車				家計消費支出 (勤労者世帯)				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高			
	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		熊本所		消費支出				熊本市		億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)
	台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)			円	前年比 (%)				
2006年	34,157	6.7	28,124	4.5	390,341	12.3	284,617	13.7	0.81	127	2.3	47,162	0.2	27,575	0.7	
2007年	32,225	5.7	27,998	0.4	431,614	10.6	297,580	4.6	0.82	139	9.4	47,976	1.7	28,666	4.0	
2008年	31,184	3.2	28,287	1.0	394,696	8.6	308,050	3.5	0.63	179	28.8	48,615	1.3	29,535	3.0	
2008.5	2,131	0.6	2,173	0.8	316,219	6.6	314,551	1.1	0.68	17	30.8	48,428	2.7	28,706	5.5	
6	2,494	2.8	2,417	0.3	562,528	10.1	280,763	6.1	0.65	16	45.5	49,211	1.5	28,621	4.4	
7	3,136	17.7	2,324	4.8	410,361	14.6	334,114	4.9	0.63	14	75.0	48,508	2.3	28,735	4.8	
8	1,781	14.0	1,943	3.2	347,826	1.9	287,104	5.6	0.61	20	53.8	48,670	2.8	28,843	5.1	
9	3,069	2.7	2,362	2.9	339,971	5.7	288,940	10.7	0.59	16	45.5	48,168	0.4	28,914	4.4	
10	2,180	11.4	2,061	9.9	382,914	7.4	297,947	4.1	0.56	13	30.0	47,998	1.8	28,769	2.7	
11	2,200	26.4	2,181	7.9	335,743	5.8	294,863	1.1	0.52	13	7.1	48,254	2.6	29,074	3.0	
12	1,585	22.5	1,930	3.5	673,220	20.6	340,159	2.6	0.49	23	109.1	48,615	1.3	29,535	3.0	
2009.1	1,981	19.4	2,227	1.3	326,437	5.2	342,506	9.5	0.44	15	50.0	48,231	2.2	29,400	4.0	
2	2,334	28.2	2,762	4.2	331,849	1.7	245,763	12.0	0.41	7	53.3	48,420	2.6	29,336	4.0	
3	3,509	25.7	3,327	13.0	326,688	7.2	383,122	18.6	0.40	11	26.7	47,989	1.8	29,490	2.1	
4	1,746	19.8	1,778	10.8	333,201	0.1	324,857	5.3	0.36	5	28.6	49,228	3.1	29,147	3.2	
5	1,824	14.4	1,777	18.2	309,038	2.3	289,525	8.0	0.35	8	52.9	49,377	2.0	29,249	1.9	
6	2,686	7.7	2,044	15.4	547,292	2.7	266,577	5.1	0.36	20	25.0	49,668	0.9	29,144	1.8	
出所	日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会				総務省			厚生労働省	東京商工リサーチ			日本銀行		

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。

# 経済指標 | 長崎県のデータ

項目 年月	紙工業生産指数 (2000年 = 100)										造船		機械等		電子部品生 産高
	総合		一般機械		食品工業		電気機械		輸送機械		生産高				
	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	季調値	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	
2006年	104.0	8.3	120.8	18.6	102.6	0.0	49.3	7.8	123.8	7.6	1,875	8.3	2,774	5.8	7.0
2007年	105.9	1.8	106.5	11.9	100.0	2.5	61.6	25.2	122.8	0.8	2,166	15.5	3,079	11.0	3.0
2008年	118.5	11.9	155.2	45.8	102.6	2.6	46.0	25.4	145.8	18.7	2,263	4.5	3,180	3.3	0.7
2008.5	121.7	18.1	160.2	64.8	100.2	14.5	48.0	35.4	138.0	18.3	184	5.7	245	5.3	10.8
6	120.2	16.7	160.1	57.6	91.9	14.3	47.3	15.6	146.1	23.5	202	5.5	294	25.2	21.2
7	122.1	14.0	184.2	77.1	101.5	3.2	58.3	0.6	151.4	22.8	176	0.9	272	21.1	16.2
8	126.6	17.6	203.5	103.3	103.2	7.6	38.1	41.8	151.7	22.8	178	5.8	250	0.2	6.6
9	125.4	19.5	187.8	90.3	107.3	1.5	37.7	27.0	148.9	13.8	203	10.4	255	2.3	19.1
10	126.3	20.9	161.8	76.2	104.2	6.1	42.2	22.3	162.6	15.8	218	17.8	277	5.1	4.3
11	108.5	2.9	135.0	45.4	95.2	12.1	53.5	3.0	151.5	4.2	169	12.2	316	14.8	12.2
12	108.0	5.1	123.4	22.4	101.0	416.4	48.3	6.7	150.3	11.4	178	2.0	303	22.3	38.7
2009.1	85.1	28.7	111.2	15.3	101.0	4.4	44.0	11.9	114.9	17.1	157	8.8	262	0.6	43.7
2	81.2	36.6	100.8	31.6	95.0	17.4	46.4	3.6	138.0	1.0	163	15.7	215	12.8	38.2
3	71.4	29.1	85.0	39.1	97.9	7.5	58.8	52.5	140.2	6.6	192	2.6	201	10.3	44.4
4	81.4	33.7	72.3	50.2	99.7	2.7	43.8	6.6	146.6	6.4	202	0.1	201	16.1	48.8
5	91.4	24.9	98.5	38.5	104.8	4.6	40.3	16.0	143.0	3.6	182	0.8	197	19.4	20.0
6															25.0
出所	長崎県統計課										三菱重工業長崎造船所、佐世保重工業		日本銀行長崎支店		

項目 年月	貿易		漁業水揚げ金額		公共工事 保証請負金額		建築着工統計 工事費予定額 (非居住用)		新設住宅着工戸数				観光施設入場者数 (主要7施設合計)		消費者物価指数 (2005年 = 100)		
	輸出金額	輸入金額	百万円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	億円	前年比 (%)	合計		持家	貸家	分譲	千人	前年比 (%)	長崎市	
	前年比 (%)	前年比 (%)							戸	前年比 (%)						前年比 (%)	前年比 (%)
2006年	41.2	16.3	64,947	7.3	1,765	15.5	831	7.4	8,940	12.6	0.6	22.8	12.7	4,775	3.9	99.8	0.2
2007年	6.0	20.7	70,247	8.2	1,862	5.5	644	22.5	6,901	22.8	19.6	11.9	56.6	5,000	4.7	99.7	0.1
2008年	5.7	57.5	73,499	4.6	1,575	15.4	582	9.6	6,942	0.6	1.5	8.9	51.3	4,593	8.1	100.9	1.2
2008.5	4.7	52.6	6,740	17.8	42	46.7	35	28.3	401	38.3	10.3	62.7	0.0	529	0.3	100.9	1.2
6	38.9	20.7	5,686	11.2	115	2.3	47	20.3	757	29.8	29.2	28.1	647.1	276	1.3	101.1	1.7
7	12.0	65.9	5,799	18.3	124	2.9	99	6.6	457	23.7	1.4	15.5	69.0	332	0.4	101.5	2.2
8	67.3	71.5	4,758	4.5	151	27.3	69	35.2	609	25.1	16.4	11.4	98.4	543	8.1	101.8	2.0
9	49.0	19.6	5,693	16.7	153	27.1	41	39.9	626	7.1	21.7	32.8	156.8	327	17.1	101.9	2.0
10	9.8	24.0	5,850	3.0	192	6.9	50	1.6	703	66.2	13.9	105.7	305.9	412	2.9	101.9	1.6
11	10.8	6.6	6,048	6.8	121	33.7	25	27.1	692	3.6	17.1	42.2	648.6	389	15.8	101.0	1.0
12	28.1	15.6	7,511	0.7	141	4.5	47	70.0	560	3.3	7.4	10.8	9.4	314	20.8	100.9	0.8
2009.1	58.3	79.6	5,431	2.1	127	35.9	167	290.9	472	7.8	22.7	3.8	7.9	183	29.8	100.5	0.7
2	9.4	31.5	5,104	9.5	150	11.8	34	3.7	505	8.0	14.6	5.6	10.0	209	34.4	100.1	0.5
3	26.2	30.7	5,520	16.5	200	16.8	27	2.9	292	47.7	39.7	54.0	50.0	407	17.0	100.5	0.5
4	53.5	37.0	5,739	24.6	152	125.8	41	35.3	465	10.2	3.9	15.5	62.0	287	28.2	100.6	0.4
5	22.2	66.4	5,011	25.7	104	147.0	44	26.5	424	5.7	2.9	39.6	79.3	465	12.2	100.4	0.5
6	3.2	49.5	4,056	28.7	141	22.6	79	68.6	511	32.5	13.0	49.3	29.1	232	15.7	99.7	1.4
出所	門司税関		県内主要4魚市場		西日本建設業保証		国土交通省				長崎県観光振興推進本部		総務省				

項目 年月	大型小売店 販売額		乗用車				家計消費支出(勤労者世帯)				有効求人 倍率	倒産件数	預金残高		貸金残高			
	百万円	前年比 (%)	乗用車新規登録台数		軽乗用車販売台数		可処分所得		消費支出				円	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)
			台	前年比 (%)	台	前年比 (%)	円	前年比 (%)	円	前年比 (%)								
2006年	133,933	4.2	22,652	10.3	24,851	7.7	348,711	12.3	278,566	3.6	0.60	125	7.8	40,336	1.2	24,989	4.9	
2007年	130,307	2.7	20,714	8.6	23,506	5.4	364,655	4.6	315,656	13.3	0.62	148	18.4	40,923	1.5	24,456	2.1	
2008年	124,827	4.2	20,245	2.3	23,250	1.1	364,276	0.1	296,622	6.0	0.57	178	20.3	40,931	0.0	23,693	3.1	
2008.5	10,126	4.3	1,357	0.6	1,793	2.8	274,399	6.8	260,285	21.8	0.58	11	42.1	41,412	1.0	24,148	1.6	
6	9,729	5.2	1,548	5.1	1,951	2.6	527,777	8.3	258,956	9.5	0.57	17	88.9	41,378	1.6	23,795	3.4	
7	11,882	1.3	1,930	16.9	1,907	8.7	370,223	9.9	285,917	17.3	0.56	17	13.3	41,079	0.5	23,905	2.8	
8	10,408	5.2	1,348	3.1	1,471	0.9	341,872	2.4	300,624	6.9	0.57	15	21.1	41,278	0.6	23,973	2.3	
9	8,931	6.1	2,076	0.6	2,054	2.7	330,857	17.3	278,198	0.4	0.56	15	15.4	40,619	0.7	23,686	2.9	
10	9,371	5.9	1,393	17.7	1,762	14.0	332,687	10.7	267,449	12.5	0.55	15	21.1	40,441	0.2	23,514	3.0	
11	10,226	3.9	1,387	21.7	1,854	13.0	299,186	5.8	357,192	34.2	0.53	15	36.4	40,770	0.7	23,565	2.6	
12	12,995	7.4	1,215	22.0	1,657	3.4	730,701	19.2	402,686	14.7	0.52	14	27.3	40,931	0.0	23,693	3.1	
2009.1	11,241	4.3	1,236	25.9	1,854	0.4	296,659	10.7	309,773	5.5	0.48	10	16.7	40,635	0.4	23,985	0.7	
2	8,600	7.8	1,414	28.3	1,994	8.7	352,389	15.9	270,656	7.7	0.44	6	57.1	41,074	1.3	24,109	0.9	
3	9,423	7.4	2,277	23.5	2,912	6.0	342,420	26.7	318,252	1.4	0.41	6	66.7	40,815	1.2	24,137	3.0	
4	9,455	4.6	1,131	17.6	1,486	11.1	372,751	15.9	328,237	17.1	0.41	14	6.7	41,521	1.4	23,256	3.9	
5	9,635	4.8	1,308	3.6	1,526	14.9	316,759	15.4	284,541	9.3	0.41	12	9.1	42,507	2.6	23,765	1.6	
6	9,216	5.3	1,756	13.4	1,778	8.9	545,894	3.4	292,139	12.8	0.41	12	29.4	42,231	2.1	23,178	2.6	
出所	九州経済産業局		日本自動車販売協会連合会		全国軽自動車協会連合会		総務省				厚生労働省		東京商工リサーチ		日本銀行			

(注) 全国と共通の指標については全国の注釈参照。漁業水揚げ金額は、長崎、佐世保、北松、松浦の4市場の合計。観光施設入場者数は、グラバー園、島原城、雲仙仁田道、西海パールリゾート、平戸城、ハウステンボス、堂崎天主堂の合計、ただし、雲仙仁田道は自動車の通行台数。

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

## アジア展示会情報

イベント等は主催者側の都合により変更されることもあります。ご不明な点がございましたら、FFG 営業企画部総合調査グループまでお問い合わせください。TEL 092 - 723 - 2576

### 北京

場 所	展 覧 会 名	期 間
中国国際貿易中心	2009中国国際教育展示会	10月17日～10月18日
	第6回中国国際茶業博覧会	10月22日～10月25日
	2009北京国際貨幣展示会	10月30日～11月1日
北京展覧館	第3回中国国際アルミ業展示会	9月24日～9月26日
	第3回中国国際銅業展覧会	
	第3回中国国際非鉄金属、圧力鋳造展覧会	
	第3回中国国際チタニウム展覧会	
	中国国際模型博覧会	10月1日～10月4日
	第11回多国都市交通展覧会及び国際駐車設備展覧会	10月28日～10月30日
中国国際展覧中心	2009中国（北京）国際ガラス工業新技術展覧会及びガラス芸術装飾展覧会	10月9日～10月11日
	2009中国（北京）国際ドア・窓・壁博覧会	10月14日～10月16日
	第4回中国国際建築展覧会	
	第12回中国国際膜と水処理技術及び装備展覧会	
	2009北京国際風能展示会	10月21日～10月23日
	第14回中国国際レーザ・光電子及び光電ディスプレイ製品展覧会	
	第6回中国国際機械視覚展覧会及び機械視覚技術検討会	10月22日～10月24日
	第12回中国北京国際家具及び木工機械展覧会	
	2009第3回中国国際馬業馬術展覧会	10月23日～10月25日
	第11回中国国際食品加工と包装機械展示会	10月27日～10月29日
	第1回深センファッションとブランド商品展示会	11月4日～11月6日
	2009中国国際真珠宝石アクセサリー展覧会	11月5日～11月9日
	2009北京国際自動車製造及び生産設備博覧会	11月11日～11月13日
	2009第5回中国国際金属成形展覧会	11月17日～11月19日
第1回中国（北京）国際省エネ技術装備展覧会	11月18日～11月20日	
全国農業展覧館	2009第11回中国国際気体技術・設備と応用展覧会	9月23日～9月25日
	第13回国際消防設備技術交流展覧会	10月16日～10月19日
	2009中国国際視聴集成設備と技術展示会	11月9日～11月11日

### 大連

大連星海会展中心	大連国際服装博覧会（二期）	9月19日～9月18日
	2009中国家庭用品博覧会	10月16日～10月19日
	第11回中国国際建築材料及び内装関連材料展示会	
	第10回大連国際流行家具展示即売大会	
	第6回中国国際高齢者用品博覧会	10月22日～10月25日
	第13回国際毛皮・皮製品・羽毛製品博覧会	11月14日～11月23日
	第14回大連国際迎春ブランド商品博覧会	12月17日～12月26日
世界博覧広場	第4回中国（大連）国際服装紡績商品博覧会	9月20日～9月23日
	中国国際奢侈品展覧会	9月24日～9月27日
	2009中国東北無公害食品博覧会	9月26日～9月28日

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間
世界博覧広場	第34回大連市不動産交易会及び内装裝飾展覧会	10月17日～10月20日
	第26回大連市中古住宅交易会	
	2009大連中日貿易投資展示商談会	10月27日～10月28日
	2009大連冬季人材交流大会	11月7日
大連富麗華大酒店	大連 - 地方銀行合同ビジネス商談会	11月23日

## 天津

天津国際展覧中心	中国国際電工電器装備展覧会	10月15日～10月17日
	2009アイスクリーム展覧会	10月28日～10月31日
	2009中国天津国際演芸交易博覧会	10月30日～11月11日
濱海国際会展中心	天津国際自動車貿易展覧会	9月29日～10月6日
	中国鋁業大会	10月20日～10月22日
	中国天津高齢者産業博覧会	10月24日～10月27日
	2009SAMPE 中国国際先進的材料と工芸技術展覧会	10月28日～10月30日
	天津電子ゲームとアニメ展覧会	10月30日～11月1日

## 長春

長春国際会展中心	2009第6回長春国際美容美髪及び化粧品展覧会	10月1日～10月3日
----------	-------------------------	-------------

## 瀋陽

遼寧工業展覧館	第3回中国東北アジア（瀋陽）輸入商品博覧会	9月1日～9月3日
	2009第2回東北生育・妊婦・赤ちゃん・児童用品展覧会	9月11日～9月14日

## 蘇州

蘇州国際博覧センター	第11回蘇州住宅産業博覧会	10月1日～10月4日
	第11回蘇州裝飾建材及び内装家屋展	
	中国クリーンルーム展覧会2009	10月22日～10月24日
	第7回中国国際集積回路博覧会&サミット	
	第8回EMEX（蘇州電子IT製品調達展示会）	10月22日～10月25日
	蘇州ショッピングフェスティバル	11月21日～11月30日
	上花（蘇州）2009年秋季釣具展	12月4日～12月6日

## 南京

南京国際展覧中心	中国食糧・食用油製品展示交易会	10月14日～10月18日
	2009第4回中国（南京）フランチャイズ加盟創業展覧会	10月16日～10月18日
	第27回中国江蘇国際自転車・電動バイク及び部品交易会	10月21日～10月25日
	第11回中国フランチャイズ展覧会	11月4日～11月8日
	2009中国国際製紙及び設備博覧会兼全国紙注文交易会	11月9日～11月13日
	第9回中国南京食品博覧会兼仕入交易会	11月11日～11月16日
	南京服装博覧会	11月26日～12月13日

## 上海

上海新国際博覧中心	2009年中国（上海）国際楽器展覧会	10月13日～10月16日
	2009年上海国際舞台照明、音響展覧会	
	第8回中国国際玩具・模型及び児童用品展覧会	10月14日～10月16日

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間
上海新国際博覧中心	中国国際紡績生地及び付属品博覧会（秋季）	10月20日～10月23日
	アジア国際動力伝動及びコントロール技術展覧会	10月26日～10月29日
	アジア国際物流技術及び運輸システム展覧会	
	第14回中国国際医薬（工業）展覧会及びフォーラム	10月27日～10月30日
	第11回中国国際工業博覧会	11月3日～11月7日
	第73回中国電子展 / 2009アジア電子展	11月11日～11月14日
	2009中国国際文房具及び事務用品展覧会	11月11日～11月13日
	中国国際ゴム技術展覧会及びアジア Essen タイヤ展	
	第17回中国国際食品及びホテル設備博覧会	11月18日～11月20日
	2009年中国国際塗料展覧会 / 中国国際表面処理技術展覧会	11月22日～11月26日
	中国国際飲料工業科学技術展	
	2009アジア太平洋地区国際プラスチック・ゴム工業展覧会	11月24日～11月27日
	2009年中国国際海事技術フォーラム及び展覧会	12月1日～12月4日
	2009アジアラベル展	
	第6回アジアプリンタ消耗品展覧会	12月2日～12月4日
上海国際自動車部品、修理点検設備及びサービス用品展覧会	12月9日～12月11日	
上海世貿商城（上海マート）	内装設計コンサルティング展覧会	10月2日～10月6日
	2009上海国際石油化学天然ガスパイプ貯蔵運輸及び爆発防止工業展覧会	10月14日～10月16日
	2009（第4回）上海国際自動車改装車博覧会	10月21日～10月23日
	2009中国国際水処理化学品、水解高分子、製紙化学品、工業表面活性製品展覧会	10月26日～10月27日
	第3回日本食品展示商談会 in 上海	10月29日～10月30日
	2009上海電動バイク、省エネルギー及び新エネルギー車展覧会兼第15回中国電動バイク学術年会	11月6日～11月8日
	欧州高級家具展覧会及び販売会	11月12日～11月22日
	上海芸術品及び骨董展覧会	11月13日～11月16日
	2009上海妊婦及び児童安全健康用品展覧会	11月20日～11月22日
	上海国際冷曲鋼管、溶接管及び冶金工業展覧会	11月25日～11月27日
	2009第3回上海国際ボイラー、圧力容器、圧力パイプ、非破壊検査展覧会 / 2009上海天然ガス車、ガススタンド、ガス技術・設備展覧会	12月1日～12月3日
	2009第9回上海国際紡績生地及びホテル用品展覧会	12月17日～12月19日
	第4回上海ビル省エネルギー技術及び設備展 / ビル省エネルギーフォーラム	12月22日～12月24日
	2009上海不動産サービス技術及び設備展覧会	
	上海光大会展中心	FIS2009上海市食品安全及び食品添加剤フォーラム兼食品添加剤及び素材展覧会
2009中国国際非金属鉱業展覧会		10月14日～10月16日
第20回多国機器、計量器学術会議及び展覧会		10月20日～10月23日
第13回中国国際歯科設備展覧会及び学術フォーラム		10月28日～10月31日
2009上海国際石油化学技術設備展覧会及び上海国際石油化学ポンプ、パイプ展覧会		10月15日～10月17日
アジア光ファイバー通信・光電博覧会及びフォーラム（AOE2009）		11月4日～11月6日
2009アジア網影像展 / 2009中国国際網印刷及びデジタル印刷展		11月9日～11月12日
第8回上海国際美容美髪祭り		11月4日～11月6日
第14回中国国際品質コントロール及び点検工業設備展覧会		11月26日～11月28日
2009上海国際総合減災及び応急処置管理設備技術展覧会		11月13日～11月15日
第14回中国（国際）ミニ電機技術フォーラム / 第10回磁気材料 / 第8回トランス / 第6回制御リレ / 第5回コンデンサー技術展		11月16日～11月18日
2009中国（上海）LED技術新光源、新エネルギー・省エネルギー照明展覧会及び技術フォーラム		
国際 EMC・ノイズ対策技術展覧会 / マイクロウェーブ技術交流展覧会		11月18日～11月20日
2009歌華第7回中国国際車用エアコン及び冷蔵技術展覧会		11月21日～11月23日
2009中国電動バイク博覧会		

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間
上海光大会展中心	2009中国バッテリー展覧会	11月21日～11月23日
	2009中国国際調味料及び食品素材博覧会	11月26日～11月28日
	2009年第3回上海デジタル内容及びソフト博覧会	12月3日～12月5日
	2009上海国際真空設備、技術展覧会	12月10日～12月12日
	2009上海国際特殊エアコン濾過分離、空気圧縮機、歯車展覧会	
	2009中国（上海）太陽エネルギー発電PV展覧会	
	2009第8回中国（上海）国際照明展覧会	12月10日～12月12日
	2009第4回中国（上海）国際漁業博覧会	
	2009第6回中国（上海）ガラス工業新技術博覧会/2009第6回中国（上海）ガラス芸術・装飾博覧会	12月15日～12月17日
	2009中国（上海）風エネルギー利用大会及び風力発電技術設備展覧会	
	2009中国上海国際熱エネルギー、新エネルギー産業博覧会	12月19日～12月20日
	2009冬季中国（上海）結婚博覧会	
	第9回全国農産品（上海）交易博覧会	
上海国際展覧中心	2009上海司法警備及び安全防犯技術製品博覧会	10月15日～10月17日
	2009第2回上海国際再利用エネルギー大会及び展覧会	10月22日～10月24日
	2009古代芸術品の贗作品及び技術展覧会	11月13日～11月15日
	第10回中国国際潤滑油、脂肪及び調和技術設備展覧会	11月18日～11月20日
	2009中国国際精細化学工業展覧会	12月1日～12月3日
	第7回国際パウダー&バルク技術展覧会及び会議	12月9日～12月11日

## 香港・マカオ

Hong Kong Convention & Exhibition Centre	香港国際アート&アンティークフェア2009	10月3日～10月6日
	香港エレクトロニクスフェア2009秋	10月13日～10月16日
	エレクトロニック アジア	
	メガショー（ギフト・家庭用品・玩具）	10月20日～10月23日
	HKTDC 香港国際照明機器フェア（秋）	10月27日～10月30日
	HKTDC 香港眼鏡フェア2009	11月4日～11月6日
	HKTDC 国際医療機器販売フェア	
	香港国際ワイン&スピリッツフェア	
	香港婚礼エキスポ2009	11月6日～11月8日
	Cosmoprof Asia 2009 - ビューティ&ヘルスフェア	11月11日～11月13日
	JMA Hong Kong 2009 - 宝飾品フェア	11月26日～11月29日
	HKTDC イノベティブデザインテクノロジーエキスポ2009	12月2日～12月5日
	HKTDC 世界中小企業エキスポ2009	12月3日～12月5日
	CineAsia 2009 - 映画産業エキスポ	12月8日～12月10日
	第57回クリスマスウェディングエキスポ2009	12月11日～12月13日
	第7回香港フードフェスティバル	12月24日～12月27日
	第7回香港メガショー（電気機器&家庭用電気製品エキスポ）	
Asia World Expo	チャイナソーシングフェア - セキュリティ製品	10月12日～10月15日
	チャイナソーシングフェア - 電子機器部品	
	チャイナソーシングフェア - 幼児・子供用製品	10月20日～10月23日
	チャイナソーシングフェア - ファッションアクセサリー	
	チャイナソーシングフェア - 贈答品	
	チャイナソーシングフェア - ホームプロダクト	
	チャイナソーシングフェア - 下着・水着	

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

場 所	展 覧 会 名	期 間
Asia World Expo	インターナショナルソーシングフェア(スポーツ用品・スポーツウェア)	10月28日～10月30日
	2009香港LED&照明テクノロジーショー	10月28日～10月31日
	環境保護国際貿易フェア	
ベネチアン マカオ	ワイン&グルメ アジア2009	10月22日～10月24日
	第14回マカオ国際貿易投資フェア	10月22日～10月25日
	第2回世界遺産旅行エキスポ	11月12日～11月14日
	第8回国際ゲーム・エンターテイメントエキスポ	
	第5回国際ホテル備品販売エキスポ	

## 深セン

深セン会議展覧中心 (Shenzhen Convention & Exhibition Centre)	中国(深セン)国際玩具・ギフトフェア2009	10月23日～10月26日
	第12回中国治安エキスポ	11月1日～11月4日
	第11回中国ハイテクフェア	11月16日～11月21日
	第9回中国(深セン)エレクトロニクス産業フェア2009	11月26日～11月28日
	第8回深セン携帯電話製品フェア	
	2009年中国(深セン)タッチスクリーンフェア	12月2日～12月4日
	2009年国際プリント配線・電子組立部品フェア	
	2009年深セン冬物ファッション展示会	12月5日～12月13日
	中国(深セン)国際ティーエキスポ	12月11日～12月13日
	中国(深セン)グリーンフードフェア	
2010年新春ショッピングフェスティバル	12月26日～1月3日	

## 広州

広州中国輸出商品取引会 琶洲展館 (China Import & Export Fair {Pazhou} Complex)	第106回中国輸出入フェア(フェーズ1)	10月15日～10月19日
	第106回中国輸出入フェア(フェーズ2)	10月24日～10月28日
	第106回中国輸出入フェア(フェーズ3)	11月2日～11月6日
	Lineapelle Asia - 国際革・合成皮革・織物フェア	11月11日～11月13日
	第9回広州衣料技術設備国際展示会	11月13日～11月15日
	第9回広州織物・アクセサリー・編み糸国際展示会	
	第9回広州染料工業・化学薬品国際展示会	
	第9回広州織物機械国際展示会	
	2009年広州テレビショッピング展示会	11月16日～11月19日
	第13回中国国際ペットショー	
	第7回中国(広州)国際自動車展示会	11月24日～11月30日
	中国ガラス技術国際展示会	11月25日～11月27日
	中国サインフェア2009&LED アジア2009	
	第16回広州ホテル備品販売展示会	12月10日～12月12日
広州市錦漢展覧中心 (Guangzhou Jinhua Exhibition Centre)	第19回中国バイク・アクセサリーフェア 2009年秋	10月9日～10月11日
	広州一般機械部品展示会	10月20日～10月22日
	ヨーロッパファッションアウトレット(広州)	11月5日～11月9日
	The 4th China Int'l PSA Tape & Label Expo	11月25日～11月27日
	2009年中国灌漑・肥料エキスポ	
	2009年中国国際リサイクル製品・技術エキスポ	11月29日～12月1日

# 貿易お役立ち情報

Useful Information

## バンコク

場 所	展 覧 会 名	期 間
バンコク国際貿易展示センター ( Bangkok International Trade & Exhibition Centre )	2009年東南アジアワイヤー製品貿易フェア	10月13日～10月15日
	2009年東南アジアチューブ・パイプ工業貿易フェア	10月13日～10月15日
	バス&トラック自動車エキスポ2009	11月5日～11月7日
	第5回建設機械・材料・サービスエキスポ	
	国際機械工具・メタル製造技術展示会	11月19日～11月22日
	写真フェア2009(国際写真機展示会)	11月26日～11月29日
	現代家具フェア2009	12月5日～12月13日
	ファッション・ジュエリーフェア2009	
婚礼フェア2009		
Queen Sirikit National Convention Centre	タイ携帯電話エキスポ2009	10月1日～10月4日
	第14回タイ ブックエキスポ2009	10月15日～10月25日
	Commart Comtech Thailand 2009(電気製品展示会)	11月5日～11月8日
	バンコク家具ショー2009	11月21日～11月29日
	家具グランドセールフェスティバル(Final)	12月19日～12月27日
Impact Exhibition & Convention Centre	家具ショー2009	9月26日～10月4日
	バンコク婚礼フェア2009	
	ファッション・ジュエリーショー2009	
	キッズ・ザ・ワールド2009	10月1日～10月5日
	第7回バンコク冷暖房機・冷蔵庫・乾燥機展示会	10月7日～10月11日
	バンコク国際ギフト・家庭用品フェア	10月13日～10月18日
	家具・ファッション・フードフェスティバル2009	11月7日～11月15日
	婚礼フェスティバル2009	
	ビューティ・スパ・ヘルス・スポーツフェスティバル2009	
	旅行フェスティバル2009	12月1日～12月13日
	第26回タイモーターエキスポ2009	

## ホーチミン・ハノイ

Ho Chi Minh International Exhibition & Convention Centre	フード&ホテル ベトナム2009	10月1日～10月3日
	Metalex Vietnam 2009(機械工具・メタル製造技術エキスポ)	10月8日～10月10日
	EPM・Linkage Vietnam 2009(機械工具・工業・オートメーション・エネルギー・電力・環境保護に関する展示会)	10月15日～10月17日
	ベトナム食品処理フェア	10月22日～10月25日
	アパレル・織物機械・アクセサリエキスポ	10月29日～11月1日
Saigon Exhibition & Convention Centre	第9回ベトナム国際プラスチック・ラバー・パッキン・プリント・ラベル工業フェア	10月22日～10月25日
	ベトナム石油、ガス、電力エキスポ2009	10月29日～10月31日
	アジアビューティ・スパ・ヘルシー・ナチュラル展示会	10月30日～11月1日
	第9回ベトナム織物・衣料産業フェア	11月5日～11月8日
	ベトナムモーターショー2009	11月20日～11月24日
	第3回建機・工具・材料・自動車技術サービス国際貿易フェア	12月1日～12月4日
	第6回ベトナム国際貿易エキスポ HCMC 2009	12月2日～12月5日
Vietnam Exhibition & Fair Centre, Hanoi	ベトナム国際工業フェア	10月20日～10月24日
	プラスチックパッキン・プリント展示会	
	機械工具展示会	11月18日～11月21日
	国際安全防火システム・器具展示会	
	国際電気製品展示会2009	

# 『新入社員フォローアップ研修会』 のご案内

## 研修のねらい

本研修では、新入社員の方々に入社後を振り返り、仕事に取り組むうえでの基本姿勢やビジネスマナーなどを再確認していただきます。さらに、即戦力として役立つビジネススキルの習得と仕事に対する意欲の向上を図り、ブラッシュアップを目指します。

### 研修内容

- 1 入社後、数ヶ月を振り返って
- 2 会社(組織)で働くことの再確認
- 3 仕事のプロになるための姿勢・意識
- 4 ビジネスマナー実習
- 5 明日からの行動についての決意表明・キャリアデザイン

### 講師

野村office主宰  
社団法人 日本経営協会講師

**野村 ひとみ** 氏

開催地区	開催日	会場	住所	定員
長崎	平成21年 9月 7日(月)	長崎新聞文化ホール	長崎市茂里町3-1	50名
福岡	平成21年 9月18日(金)	福岡天神センタービル	福岡市中央区天神2-14-8	50名
北九州	平成21年 9月24日(木)	小倉興産KMMビル	北九州市小倉北区浅野2-14-1	50名
熊本	平成21年 9月25日(金)	KKRホテル熊本	熊本市千葉城町3-31	50名
佐世保	平成21年 10月16日(金)	佐世保ワシントンホテル	佐世保市潮見町12-7	30名

[時間] 10時00分～17時00分 (9:30受付開始)

※受講の際は、公共の交通機関をご利用ください。

[受講料] FFG経営者クラブ会員企業／お一人様2,000円(税込)(資料、昼食代を含みます。)

会員以外／お一人様6,000円(税込)(資料、昼食代を含みます。)

[主催] FFG経営者クラブ、FFGビジネスコンサルティング、福岡銀行、熊本ファミリー銀行、親和銀行

### お申し込み方法

下記申込欄にご記入の上、FFG経営者クラブ事務局宛にFAXにてお送りいただくか、または下記のホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申し込み願います。  
(先着順ですので、お早めにお申し込みください。)

FFGビジネスコンサルティングホームページ <http://www.ffgbc.com/>

ふくぎん FFG 経営者クラブ 会員番号	1	7	7								お取引支店	支店
熊本ファミリー FFG 経営者クラブ 会員番号	5	8	7								お取引支店	支店
しんわ FFG 経営者クラブ 会員番号	8	1									お取引支店	支店

※会員番号がご不明な場合は、所属されている各クラブ名を○で囲み、番号は空欄のままご提出ください。

貴社名			業種				
ご住所	〒		電話番号				
			FAX番号				
お申込みご担当者(※)	ご役職			お名前			
参加者	お名前 <input type="checkbox"/>			( 才)	お名前 <input type="checkbox"/>		
	お名前 <input type="checkbox"/>			( 才)	お名前 <input type="checkbox"/>		
参加地区	○長崎 9月7日(月)	○福岡 9月18日(金)	○北九州 9月24日(木)	○熊本 9月25日(金)	○佐世保 10月16日(金)		

▲ご参加される地区に○を記入してください。

※お申込みご担当者様に代表して受講票をお送りさせていただきます。

※ふくおかフィナンシャルグループ主催の平成21年度(3月または4月)新入社員研修にご参加いただいた方は参加者お名前の欄のにチェックをお願いします。

ご記入いただきましたお客様の個人情報は(株)FFGビジネスコンサルティング、(株)福岡銀行、(株)熊本ファミリー銀行、(株)親和銀行において、本セミナーの円滑な運営のためにのみ利用させていただきます。

お問合せ先

株式会社 FFG ビジネスコンサルティング内  
**FFG経営者クラブ事務局**  
〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1

TEL **092-723-2241**

FAX **092-721-9258** (担当:酒口・久保田)

# 海外拠点紹介

## 海外駐在員事務所の位置と担当範囲

海外拠点にて海外直接投資や、貿易に関する情報収集等を行っています。海外進出等ご検討のお客様、海外のことならお任せください！

海外拠点へのご用命・ご訪問は、取引店へお申し出ください。



## FFG ふくおかフィナンシャルグループ

### 編集後記

上海駐在員事務所へ赴任して1ヶ月になりますが、今回の商談会に共催企業として参加し、会場内が混沌とするほどの来場者数及び3,000件に上る商談件数の多さを目の当たりにし、改めて世界経済がマイナス成長となる見込みの中で、8%の経済成長を見込む中国経済への注目度の高さを肌で実感致しました。

田中

今月弊社では「高校生の職場訪問」や「家族参観日」などのイベントが開催されました。他人から「見られる」ことで、自らの襟を正すことができ、業務のレベルアップを図るよい機会になったと感じています。中島ターレット様が数多くの工場見学を受け入れられている理由の一つにもこの点があるのかな、とも感じました。

花谷

大型小売店販売額は低迷が続いていますが、アウトレットモールは全国的に好調のようです。以前は「B級品」が売られているという偏見もありましたが、今では「良いものが安い」とファンも多く、遊具も充実し魅力が増しています。一度ついたマイナスイメージも時間をかけてプラスに変えることができれば、強みになります。私の生まれた街も「公害の街」から「環境モデル都市」へと大きく変貌を遂げることができれば幸いです。

大庭

日本各地で台風等による被害が出ていますが、香港も台風の通り道で、シグナル8が発せられると地下鉄を除く公共交通機関はストップし、当然ショップもクローズします。TVや映画で香港のストリートにたくさんの看板が設置されている光景を眼にされるとと思いますが、台風時はこの看板が飛ばされ凶器と化するので、この時期香港に来られる方はくれぐれもご注意ください。

末松

昨年末の「新語・流行語大賞」の1つに選ばれた「ゲリラ豪雨」。正式な気象用語でないにもかかわらず、九州北部の遅かった「梅雨明け」や局地的な「豪雨」によって、我々の日常生活にすっかり定着した感があります。同じく、一昨年に「新語・流行語大賞」に選ばれた「猛暑日」(一日の気温が35度を超える日)は、8月上旬迄の北部九州の天候を見る限り、なかなか定番がない様です。

真田

「中小企業のIT」レポート執筆の最中、高知よさこい祭りに参加し、よさこい発祥の本場の熱気を体感してきました。また、坂本竜馬の生まれた土地であり、停滞を打破する革新的行動と中小企業の経営とをつい重ね合わせてしまいました。竜馬のような数多くの経営革新者の出現が待ち望まれます。

島浦

# FFG経営者クラブのご案内

価値ある情報と経営支援サービスで  
貴社の発展をサポートいたします!

## FFG経営者クラブに入会すれば…

### 1 個別商談会やビジネス交流会で販路を拡大します。

【最近の実績】 「フード・アグリアイランド九州2009」(09年5月・福岡)  
「2009大連-九州ビジネス商談会」(09年5月・大連)



### 2 最新の実務情報や経営者の本音を直接聞けます。

「FFG経営者クラブ主催・各種セミナー」／「日経ベンチャー経営セミナー」

### 3 ヒント満載の専門情報を毎月お届けします。

「日経トップリーダー」など多彩なラインナップ「ブックセレクトサービス」  
会員限定メニューが満載「NVCマンスリー」



### 4 移動時間にもムダなく情報収集ができます。

旬の話題、実務のツボを毎月60分で。  
「トップの情報CD」で通勤中もラクラク情報収集。

### 5 約3,200項目の詳細な調査レポートが、いつでも使えます。

経営全般から健康管理まで、ビジネス上の課題に即座にお応えする「ビジネスレポート」



### 6 インターネットでも、強かにサポートします。

条件を入力して、受給可能なものをカンタン検索「助成金・補助金サーチ」  
「売りたい」「買いたい」情報を全国に発信「バーチャル商談会」

### 7 社内研修も、多彩なテーマでバックアップします。

営業、販売、経理・財務、人事など「教育研修用ビデオ貸出サービス」

年会費  
**35,000円** (税込み)  
お申し込みは下記の事務局まで

## 「FFG経営者クラブ」事務局

株式会社FFGビジネスコンサルティング ビジネスコンサルティング部内 〒810-8727 福岡市中央区天神2-13-1 福岡銀行本店ビル5階

TEL.092-723-2241 FAX.092-721-9258

あなたのいちばんに。



ふくおかフィナンシャルグループ